


## 福岡市の緑の現状

- 1 総括目標の達成状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ |
- 2 各基本方向における主な実績及び達成状況・・・・・・・・・・ | 0



# Ⅰ 総括目標の達成状況

## 「新・緑の基本計画」の総括目標

		平成19年 現況値	⇒	令和2年 目標値
総括目標		●全市域における緑の面積 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">目標①</span>	⇒	18,864ha
		・うち持続性のある緑の面積	⇒	11,549ha
		●市内の緑による二酸化炭素吸収量、屋上緑化による二酸化炭素排出削減量 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">目標②</span>	⇒	吸収量: 約79,740 t-CO <sub>2</sub> /年 排出量: 約20~100 t-CO <sub>2</sub> /年
●身近な地域において緑が豊かであると感 じている市民の割合 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">目標③</span>	⇒	24.1%	⇒	55%

※持続性のある緑…持続性のある緑とは、次のいずれかの要件に当てはまるもの

- ア 法令により土地利用転換が規制されている緑地
- イ 公的機関かそれに準じる団体が所有または借地している公園緑地や施設の緑
- ウ その他法令による位置づけがある緑

## 総括目標の達成状況

### ●目標①:全市域における緑の面積

全市域の緑の面積は約 120ha 増加、「緑の面積を維持する」という目標値を達成しているが、「保全系の緑」では農地、「創出系の緑」では住宅地の緑が減少している。

- ※保全系の緑…森林、農地、河川・水面等
- ※創出系の緑…公園・緑地等、住宅地等
- ※記載の年次は調査年次であり、公表年次と異なる場合がある。

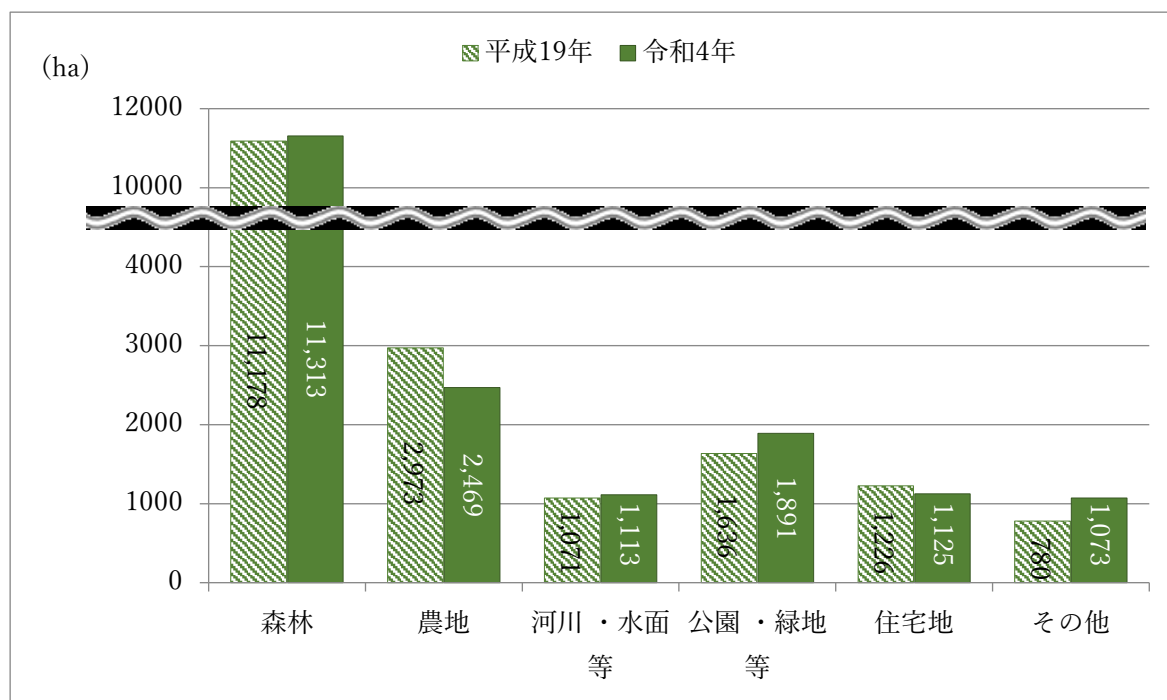
### <「市街化区域」と「市街化調整区域」の緑被面積及び緑被率の推移>

	現計画策定時 (平成19年)		(平成24年)		(平成29年)		現況値 (令和4年)	
	緑被面積 (ha)	緑被率 (%)	緑被面積 (ha)	緑被率 (%)	緑被面積 (ha)	緑被率 (%)	緑被面積 (ha)	緑被率 (%)
全市域	18,864	55.4	18,964	55.5	18,921	55.4	18,984	55.4
市街化区域	3,241	20.7	3,466	21.3	3,435	19.8	3,247	19.8
市街化調整区域等	15,623	84.9	15,498	86.6	15,486	88.1	15,737	88.1

### <「保全系の緑」と「創出系の緑」の緑被面積の推移>

	保全系の緑 緑被面積 (ha)				創出系の緑 緑被面積 (ha)				総緑被面積 (ha)
	森林	農地	河川・ 水面等	合計	公園・ 緑地等	住宅地	その他	合計	
平成19年	11,178	2,973	1,071	15,222	1,636	1,226	780	3,642	18,864
平成24年	11,241	2,671	1,037	14,948	1,755	1,349	912	4,016	18,964
平成29年	11,171	2,677	1,037	14,886	1,803	1,251	980	4,034	18,920
令和4年	11,313	2,469	1,113	14,895	1,891	1,125	1,073	4,089	18,984

<土地利用毎の緑被面積の増減>



令和4年の全市域における緑の面積は 18,864ha から 18,984ha と約 120ha 増加し目標を達成。緑の増減の内訳を保全系の緑と創出系の緑の現状を見ると以下の通り。

- ・「保全系の緑」：-326.7（森林+134.8, 農地-503.4, 河川・水面等+41.9）
- ・「創出系の緑」：+447.2（公園・緑地等+254.6, 住宅地-101.3, その他+204.9）

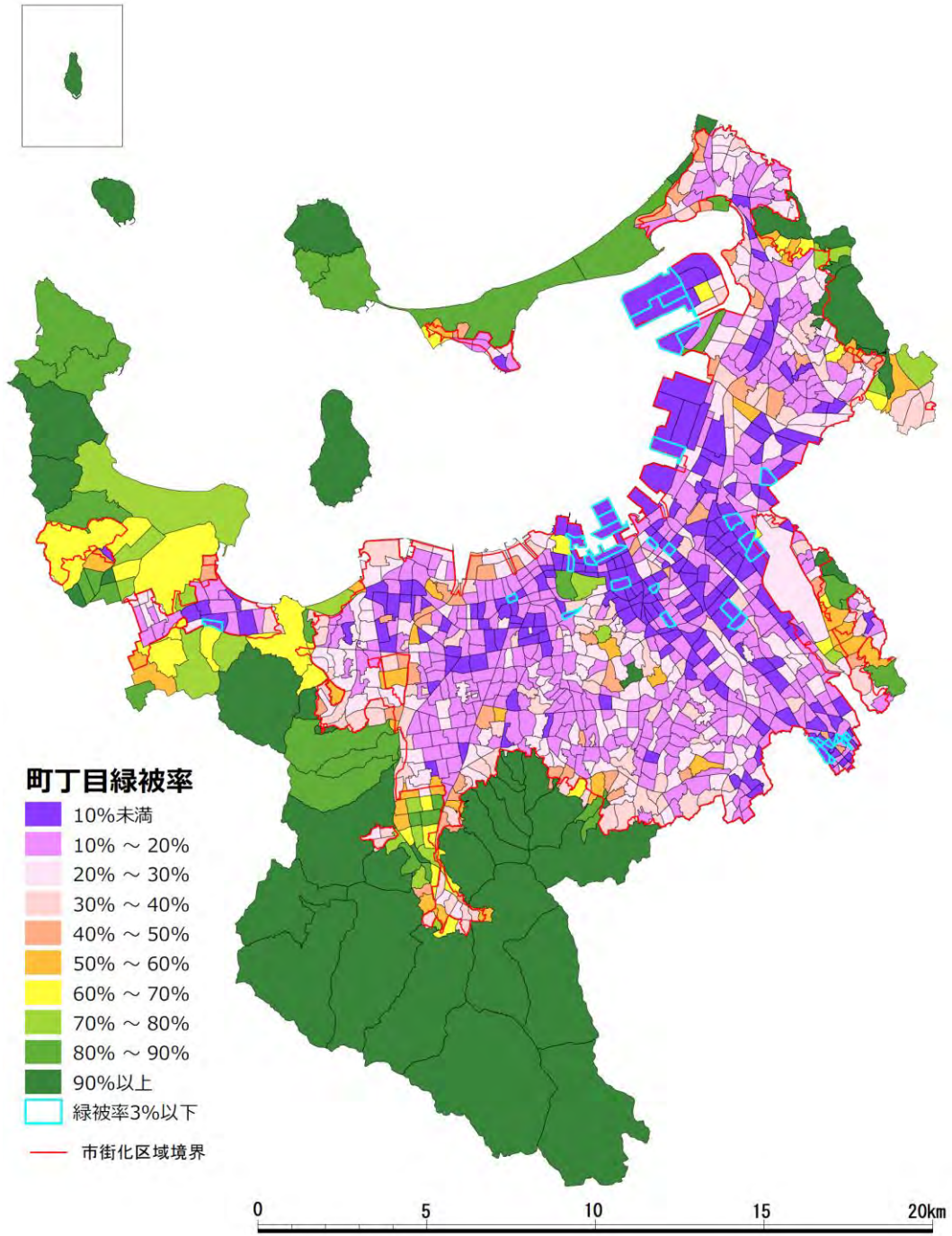
「保全系の緑」の主な増減要因

- ・森林の主な増加箇所は、海の中道周辺、毘沙門山周辺、青葉の森公園周辺、市南西部で、主な減少箇所は、月隈・東平尾公園周辺、九大伊都キャンパス、東油山ゴルフ場周辺など。さらに市街化区域内の各地で小規模な山林が消失している。
- ・農地の主な減少箇所は、九大伊都キャンパスや西南学院大学グラウンドの整備、九州大学学研都市周辺で宅地開発。

「創出系の緑」の主な増減要因

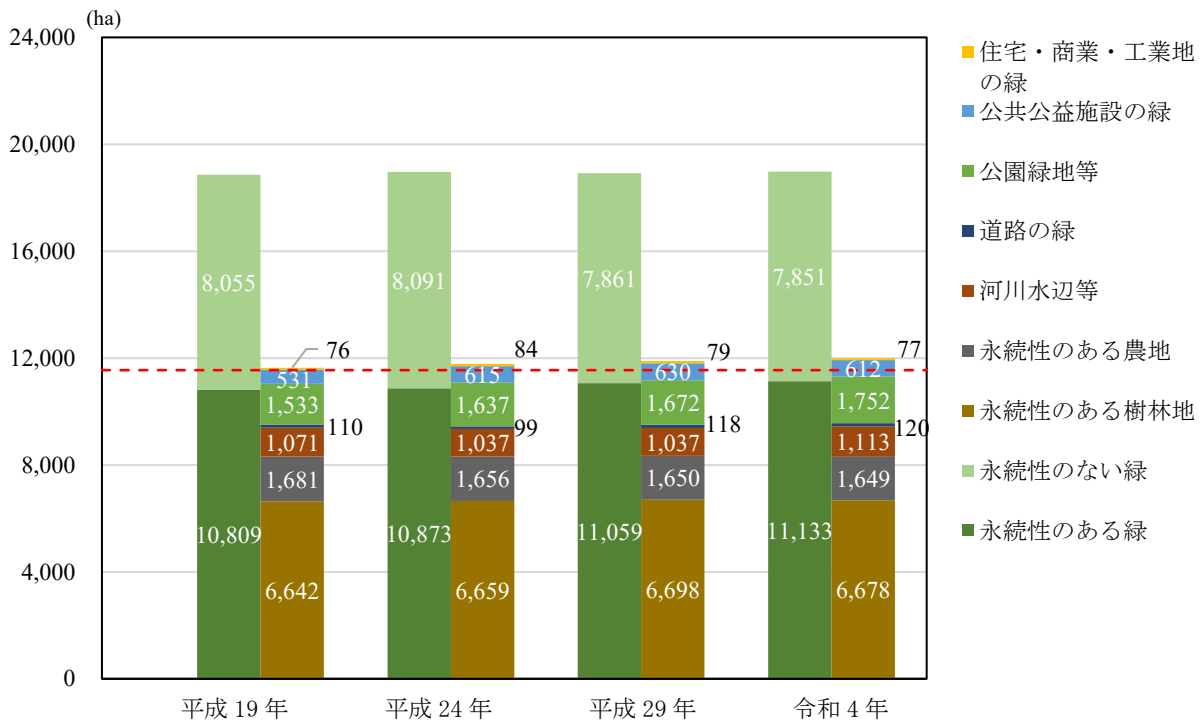
- ・公園・緑地等の主な増加箇所は、香椎浜中央公園、西南の杜湖畔公園、九大伊都キャンパス敷地内、海の中道環境共生の杜、月隈・東平尾公園周辺、東油山ゴルフ場周辺等。
- ・住宅地は増加したが緑被面積が減少したため、住宅地全体の緑被率が 18.3%→15.5%に下がった。

<緑被率（町丁目別）>

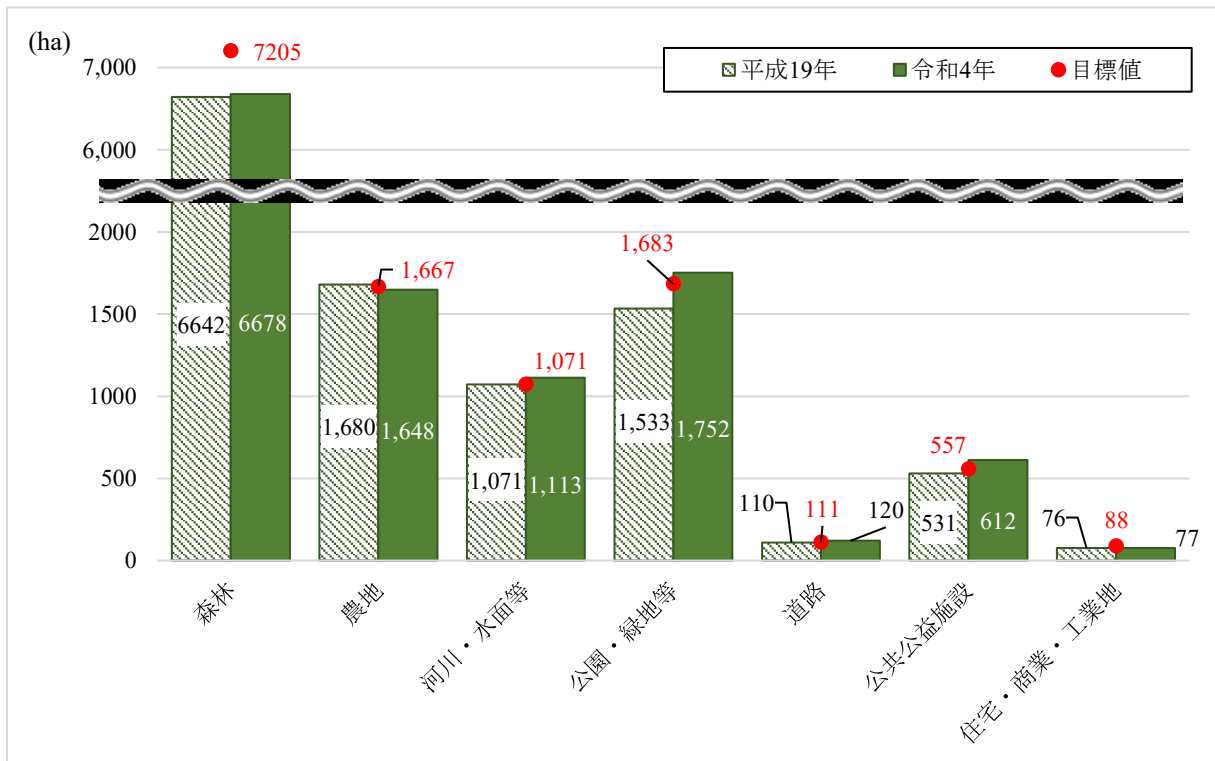


### ○「永続性のある緑」の面積の推移

永続性のある緑の面積は H19 年に比べ **324ha 増加**しているものの、目標値は**非達成**。



### <「永続性のある緑」の土地利用毎の増減>



**持続性のある森林は 36.4ha 増加**、主に保安林と水源かん養林が増加している。

- ・保安林は、西区で民有保安林が追加、南部で既存の民有保安林周辺で範囲が拡大、海の中道の国有林が民有保安林に変更。
- ・水源涵養林は、主に曲渕ダムと脊振ダムの水源かん養林が増加。

**持続性のある農地は 32ha 減少**、主に農用地区域が減少している。

- ・農用地区域が市内各所で除外され 34.6ha 減少。
- ・公共団体外が設置している市民農園は、H29 まで減少傾向にあったが、H29 以降 14 件新規指定され H19 時相当を確保。H19～H29 に 7 件廃止（12→5）1.4ha 減少、H29～R4 に廃止 3 件、新規 14 件（5→16）1.5ha 増加

**公園・緑地等は 218.7ha 増加**、主に都市公園法で規定する公園・緑地・墓園等が 194.5ha 増加、その他港湾緑地、史跡・遺跡の公園的整備、空港周辺移転補償跡地の公園的整備が増加し、公営住宅の児童遊園が減少している。

- ・面積増：国営公園海の中道海浜公園+100.2ha、アイランドシティ中央公園が+4.1ha、今津運動公園+12.4ha、那珂川緑地+2.5ha など。
- ・新規：かなたけの里（風致公園）+11.5ha、香椎浜中央公園+3.3ha。
- ・公営住宅は減少傾向にあるが、公営住宅敷地内の公共空地面積の減少割合はより大。

**公共公益施設の緑は 81ha 増加**している。

- ・九大伊都キャンパス、アイランドシティ（市立こども病院、市総合体育館、照葉北小学校、福岡未来病院）、福岡市西部水処理センター、西南学院大学田尻グリーンフィールドなどが整備された。

**持続性のある住宅・商業・工業地の緑は 1.9ha の微増ではあるが、緑地協定地区の民有宅地の緑（-3.2ha）、風致地区内の民有宅地の緑（-2.0ha）が減少**している。

- ・緑地協定地区の範囲が 79.0ha（62.5%）減少、地区内の植栽、生垣、低木など緑被面積が 3.2ha（20.1%）減少、緑地協定地区が減少（17 件→15 件）。廃止（9 件）した緑地協定地区は規模が大きいものが多く、新規（7 件）は規模が小さいものが多い。また、継続している緑地協定地区の多くはアイランドシティ内にある。
- ・風致地区内の民有地の面積は微増（+4.3ha）しているが、植栽、生垣、庭木などの緑被面積は減少（-1.2ha）傾向にある。
- ・地区計画で定める緑地は 3.6ha 増加。

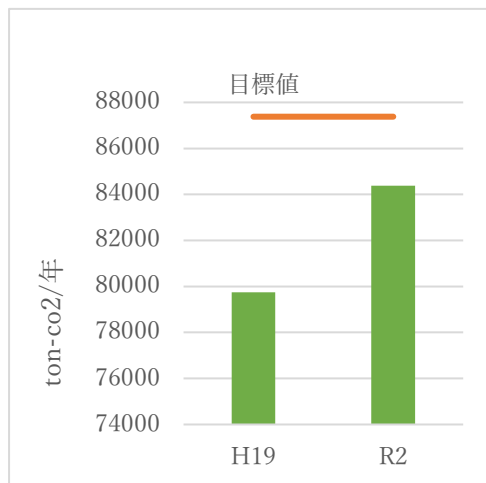
●目標②：市内の緑による二酸化炭素吸収量、屋上緑化による二酸化炭素排出削減量

市内の緑による二酸化炭素吸収量は、屋上緑化による二酸化炭素排出削減量、森林による二酸化炭素吸収量は増加したものの、目標値は非達成。

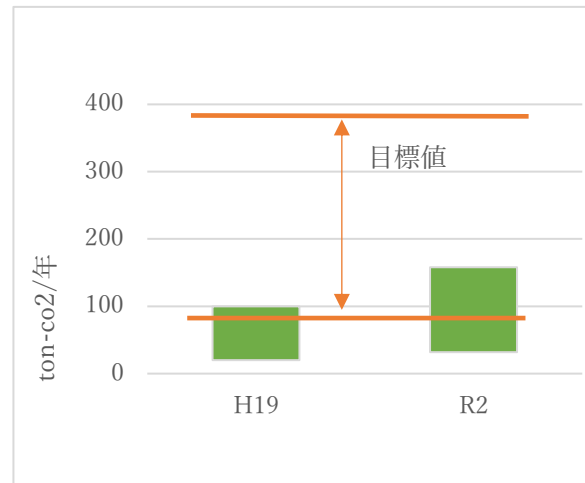
種類	項目	計画策定時現況値 (H19年)	目標値 (R2年)	今回調査値 (H29年～R2年)
総括目標	市内の緑による 二酸化炭素吸収量	約 79,740t-CO <sub>2</sub> /年	約 87,380t-CO <sub>2</sub> /年	約 84,374t-CO <sub>2</sub> /年
	屋上緑化による 二酸化炭素排出削減量	約 20～100t-CO <sub>2</sub> /年	約 80～380t-CO <sub>2</sub> /年	約 33～153t-CO <sub>2</sub> /年
重点分野の 成果指標	森林による 二酸化炭素吸収量	約 53,510t-CO <sub>2</sub> /年	約 57,240t-CO <sub>2</sub> /年	約 55,720t-CO <sub>2</sub> /年

(出典：福岡市緑の基本計画に係る二酸化炭素吸収量・排出削減量算定業務委託業務報告書)

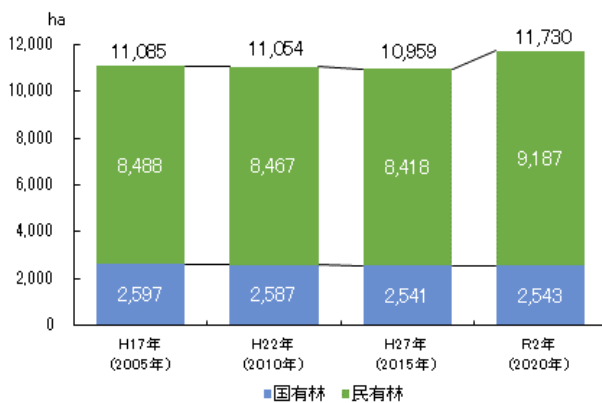
市内の緑による二酸化炭素吸収量は、H19年に比べ**3,434ton-co2/年増加**しているが、目標値は**非達成**。屋上緑化による二酸化炭素排出削減量は**増加したものの**、目標値は**非達成**。



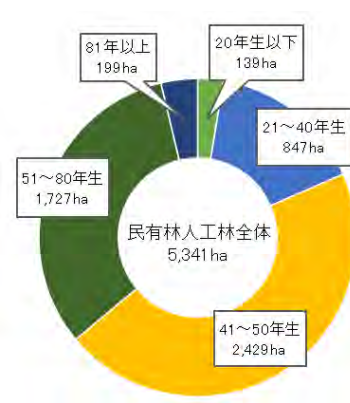
市内の緑による二酸化炭素吸収量



屋上緑化による二酸化炭素削減量



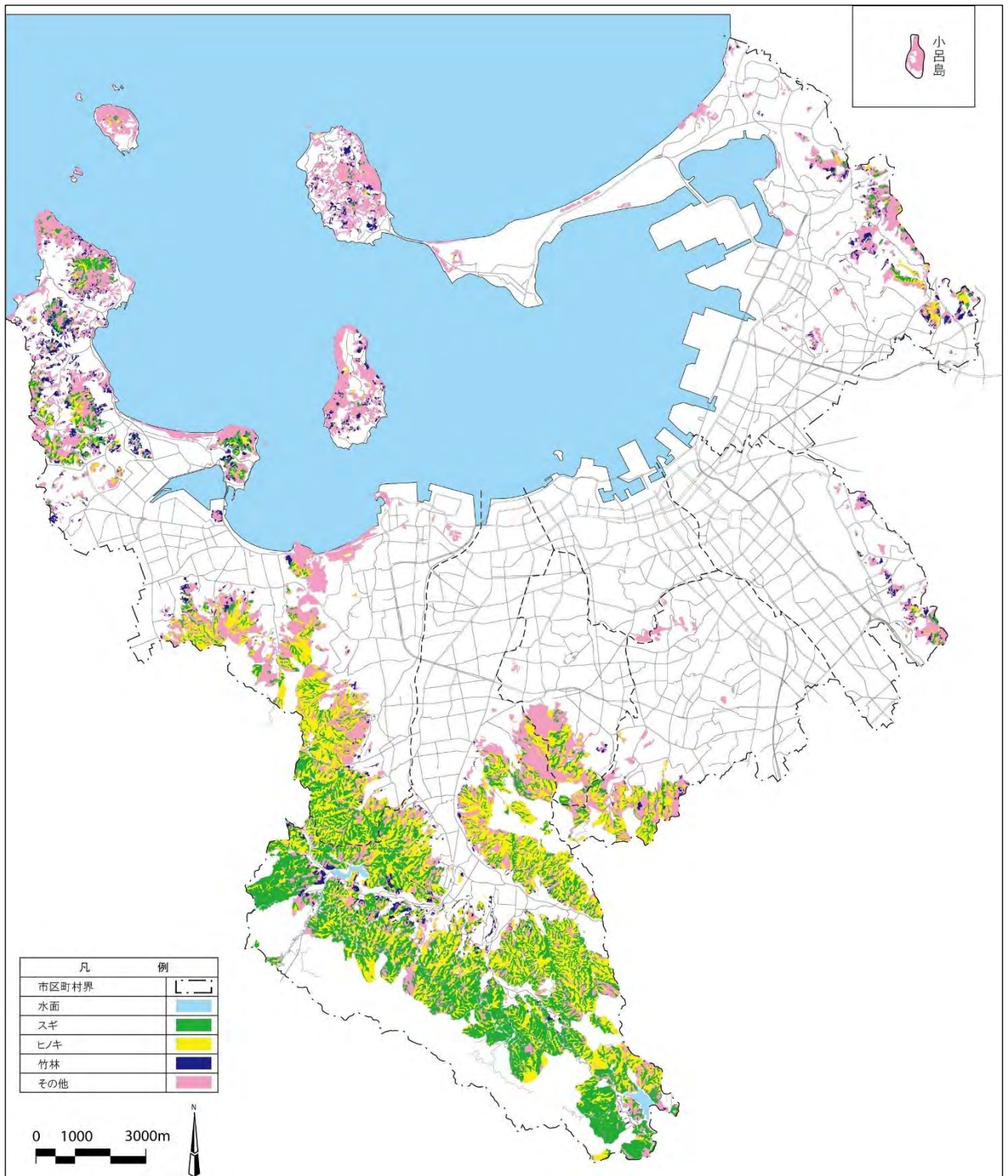
福岡市の森林面積の推移



民有林の樹齢別構成面積

(出典：福岡市農林業総合計画 R4.3)

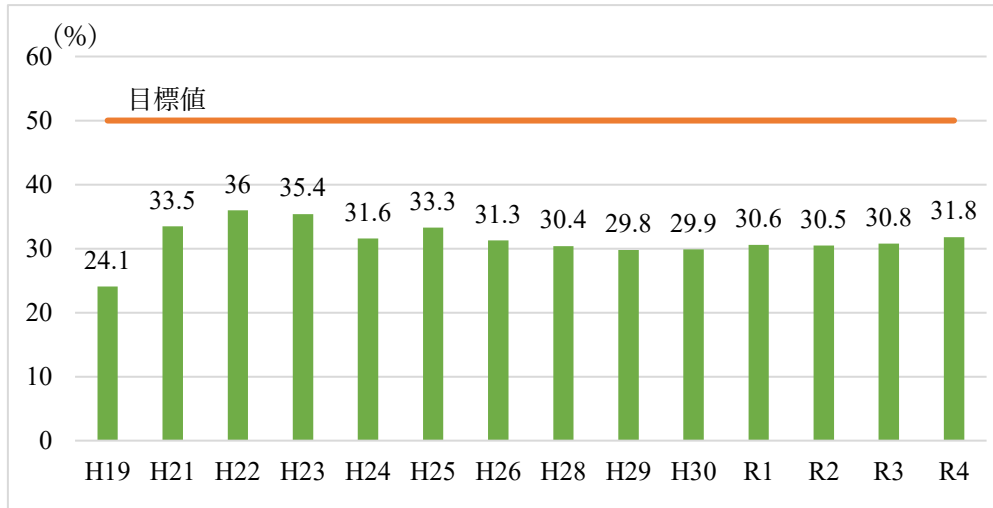




森林の樹種構成（私有林のみ）  
 （出典：福岡市農林業総合計画 R4.3）

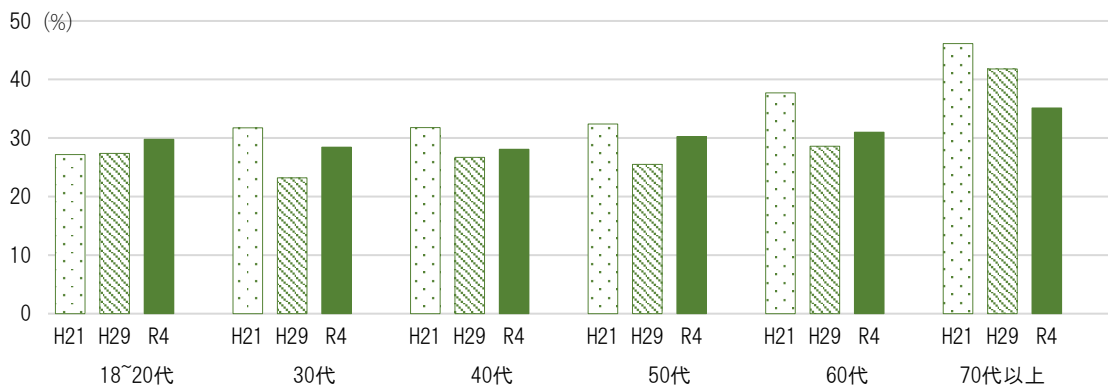
●目標③：身近な地域において緑が豊かであると感じている市民の割合

「身近な地域において緑が豊か」と感じている市民の割合はH19年と比べ増加しているものの30%前後で推移しており、目標値は非達成。

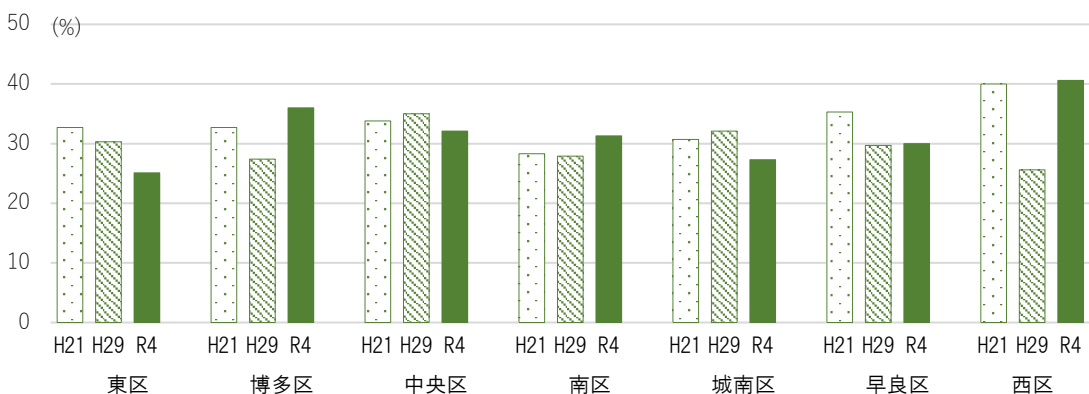


問「いろいろなことを総合して、あなたの地域は5年前に比べて緑が豊かになったと思いますか」に対して、「豊かになった」「どちらかといえば豊かになった」と回答した市民の割合

身近な地域において緑が豊かと感じている市民の割合

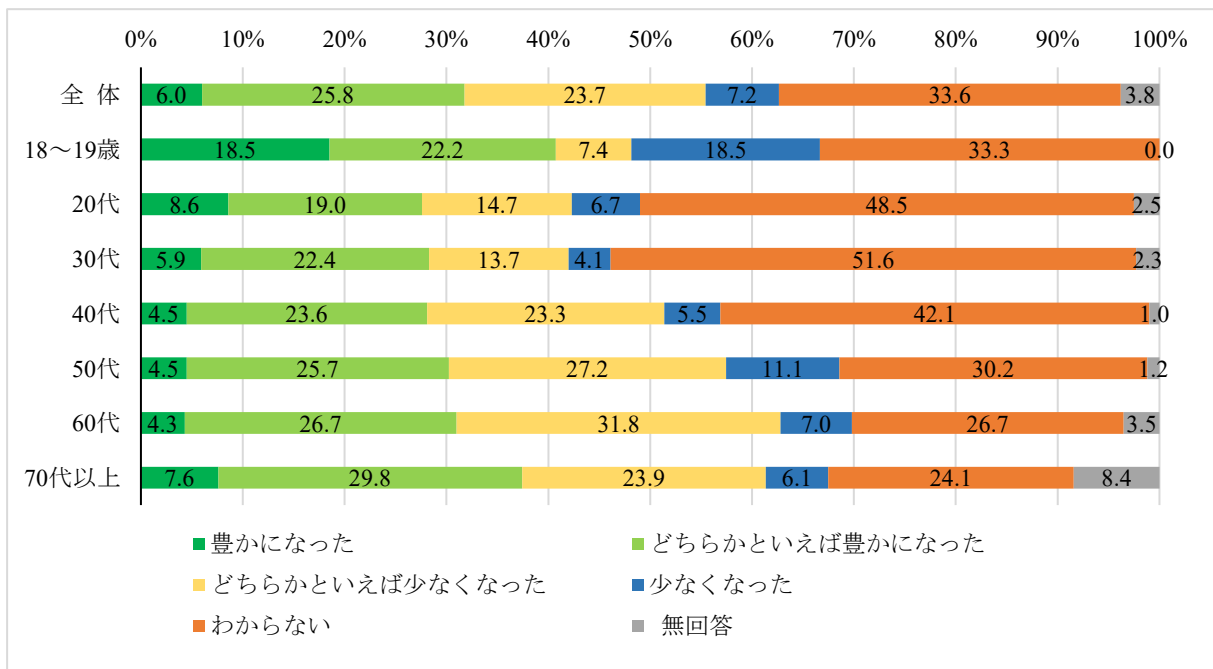


身近な地域において緑が豊かと感じている市民の割合（年代別 H21, H29, R4）



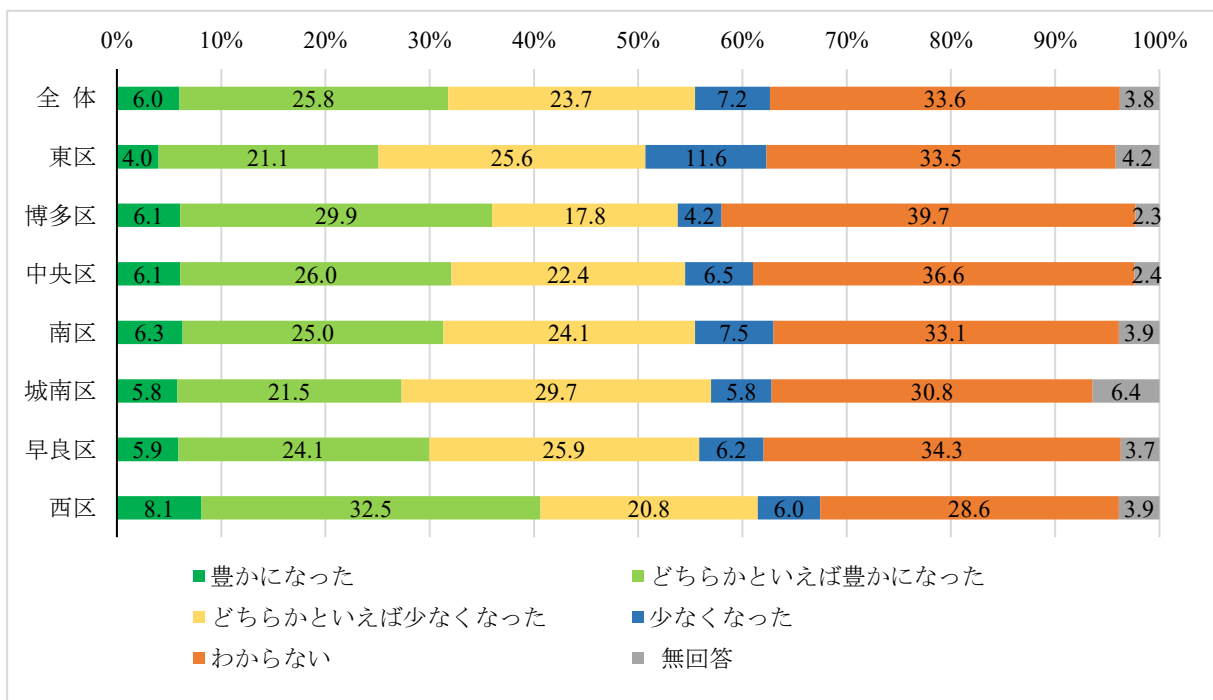
身近な地域において緑が豊かと感じている市民の割合（居住区別 H21, H29, R4）

H21、H29、R4の「緑が豊か」と評価する割合は調査年により増減があり、傾向が把握し難い。年代別では高齢者が比較的高い傾向が見られる。(H19~H20、H22~H26のクロス集計データ無)



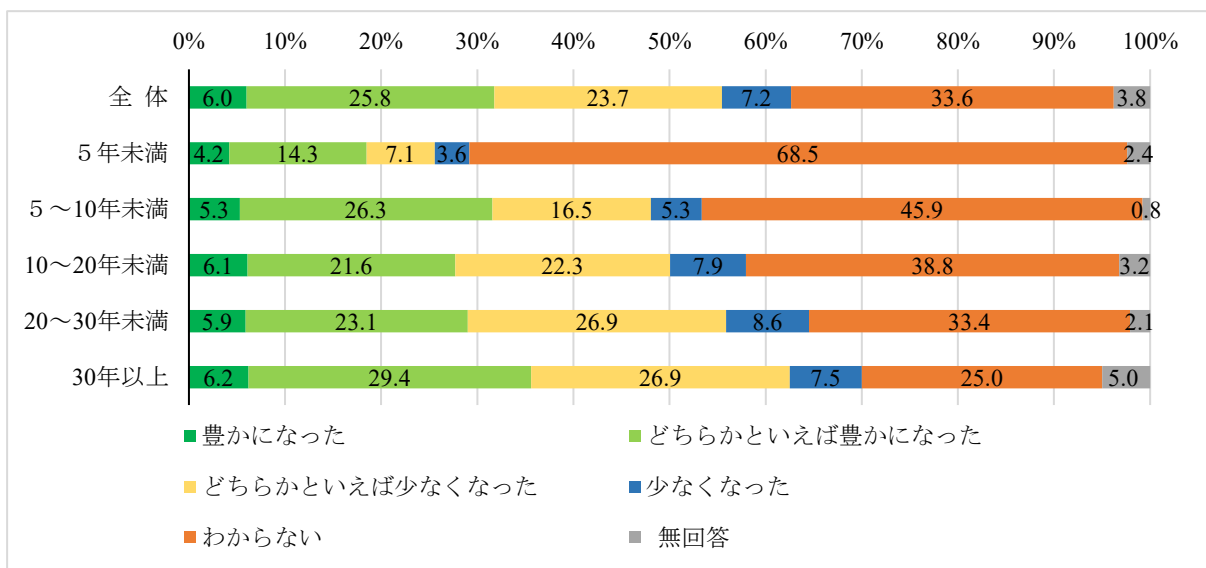
身近な地域において緑が豊かと感じている市民の割合内訳（年代別 R4）

R4年の意向調査結果を年代別に見ると「緑が豊か」と評価している割合は、年齢が上がるに伴い高くなっている。



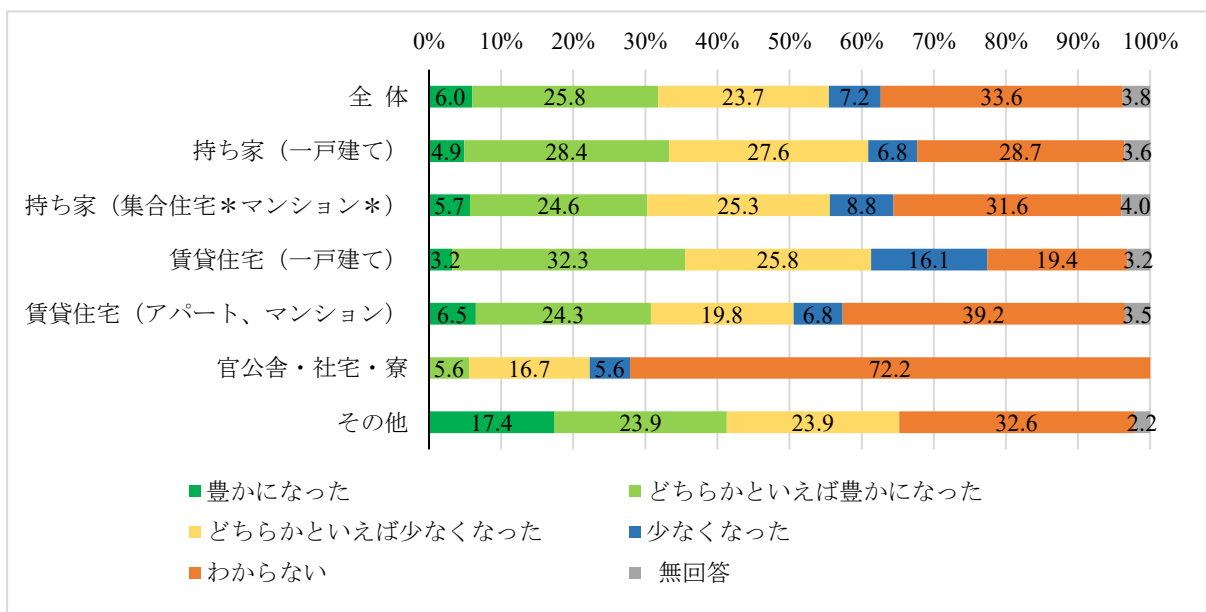
身近な地域において緑が豊かと感じている市民の割合内訳（居住区別 R4）

居住区別に見ると「緑が豊か」と評価している割合は、西区が最も高く、次いで博多区、中央区が平均よりも高く、東区、城南区、早良区は「緑が少ない」と評価する割合が「緑が豊か」よりも高くなっている。



身近な地域において緑が豊かと感じている市民の割合内訳（居住年数別 R4）

居住年数で見ると、居住年数が長くなるほど「緑が豊か」と評価する割合が高くなる傾向が見られる



身近な地域において緑が豊かと感じている市民の割合内訳（住居形態別 R4）

住居形態で見ると、持ち家、賃貸住宅ともに一戸建ての方が集合住宅よりも「緑が豊か」と評価する割合が若干高くなる。

H19年では「緑が豊か」と評価した人々は25%未満であったが、H21年～H25年は33%程度、それ以降は概ね30%以上で推移しており、大きな変化は見られない。

さらにR4年の調査結果の内訳を見ると、「緑が少ない」と評価する人々が30%程度、「わからない」と答えた人々が33%程度おり、評価がほぼ3つに分かれている。

## 2 各基本方向における主な実績及び達成状況

### 【基本方向 1】 森の緑地環、緑の腕、博多湾水際帯を守り、つなぎます

- ・ 山林の緑が豊かと感じている市民の割合は目標ほぼ達成。
- ・ 市域全体の「永続性のある樹林地」は増加したが、市街化区域で減少。  
→市街化区域内での樹林地の保全が課題
- ・ アイランドシティまちづくりエリア北側で調査対象区域が増加したが土地利用は未済。  
→アイランドシティにおける緑化の推進が課題

#### ①主な成果指標

永続性のある樹林地：目標値 7,205ha

市街化区域における永続性のある樹林地の面積；目標値 213ha

山林の緑が豊かであると感じている市民の割合：目標値 70%

#### ②主な実績

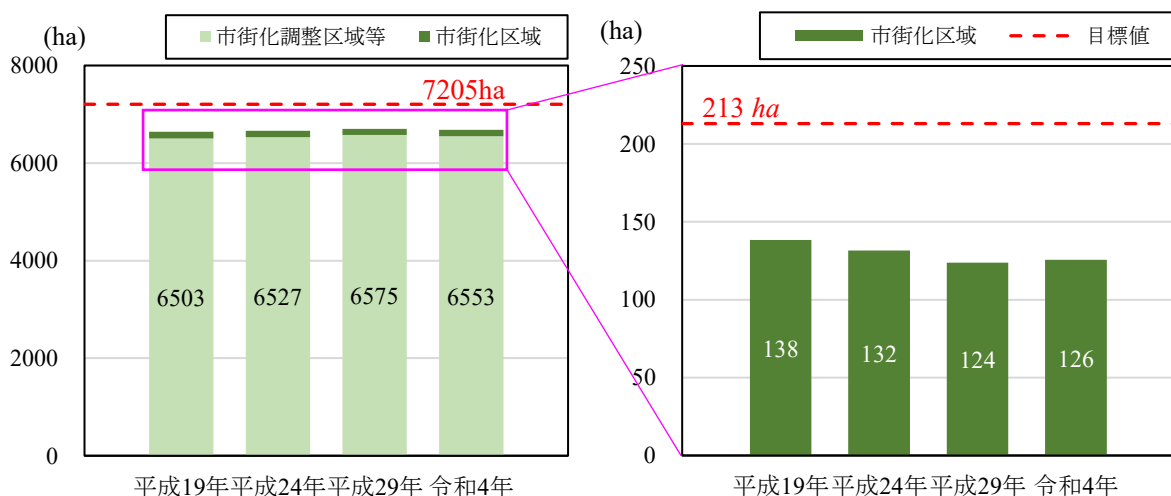
- 水源かん養林 512ha (H21) →566ha (R2)
- 特別緑地保全地区 114.7ha (H21) →117.5ha (R4)
- 海の中道海浜公園の整備促進 264.7ha (H21) →349.7ha (R4)

#### ③達成状況

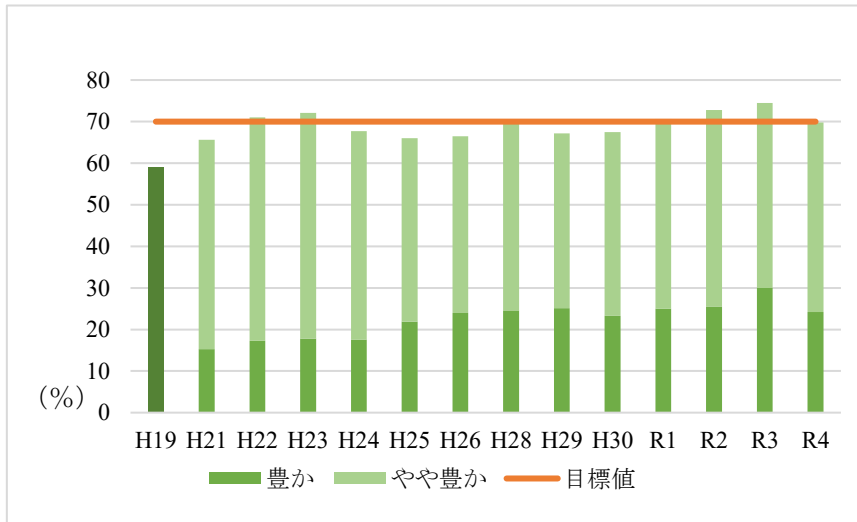
永続性のある樹林地の面積は全市域で 6,678ha で、平成 19 年と比べると 36ha 増えたものの、現計画の目標値である 7,205ha には非達成。

市街化区域における永続性のある樹林地の面積は、平成 19 年と比べて 12ha 減少しており、現計画の目標値である 213ha を大きく下回っている。

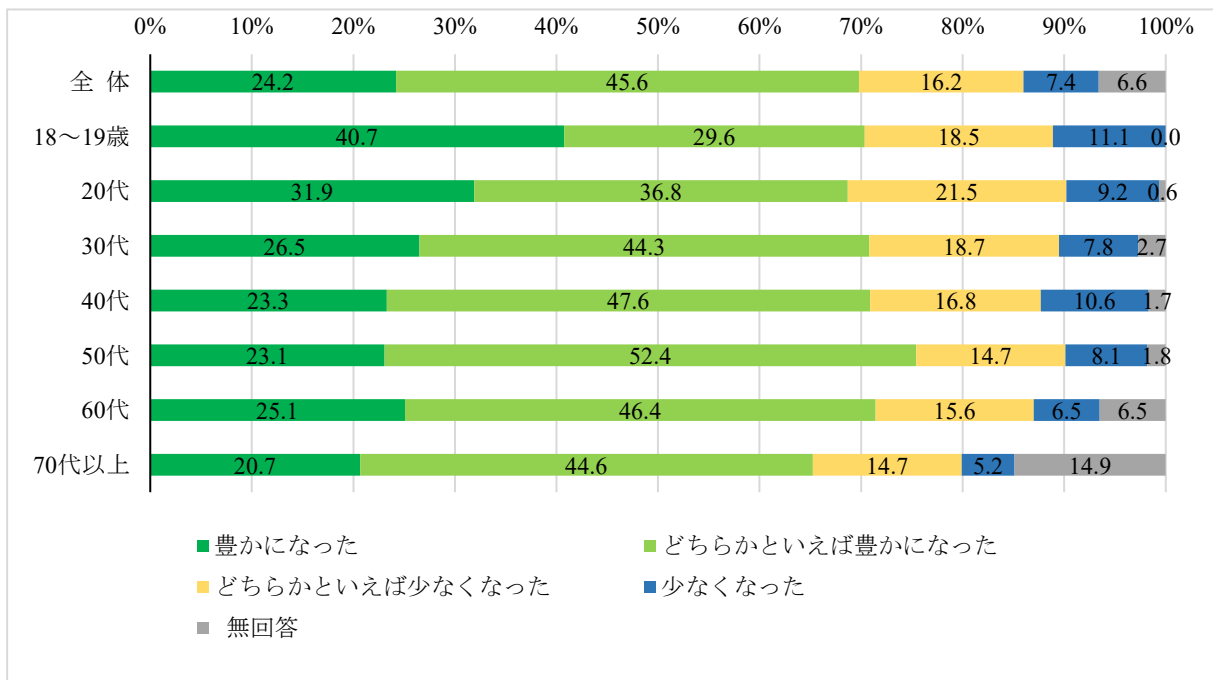
山林の緑が豊かであると感じている市民の割合は、目標値の 70%前後で推移している。



永続性のある樹林地の面積の推移

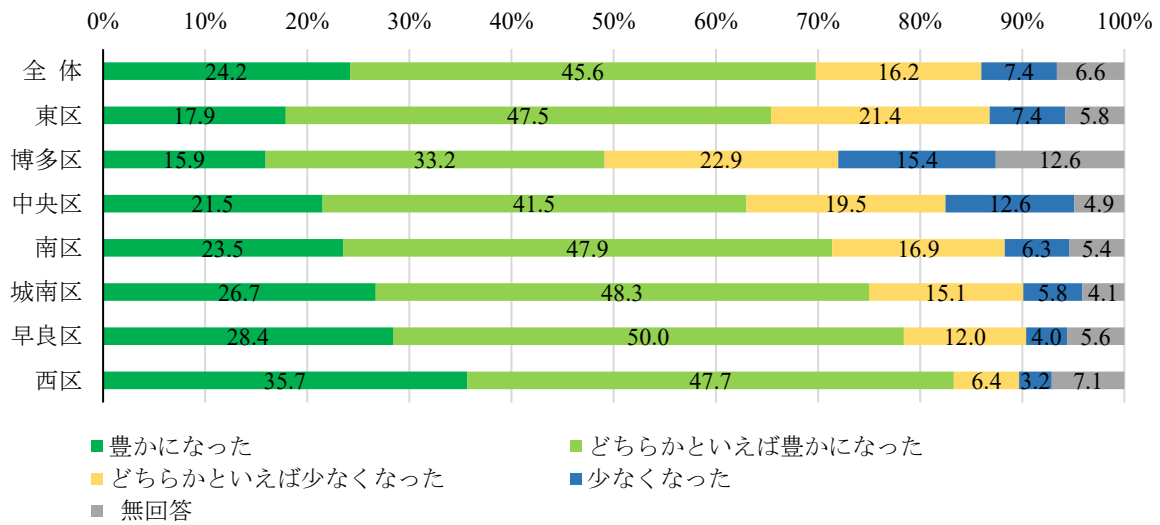


山林の緑が豊かであると感じている市民の割合



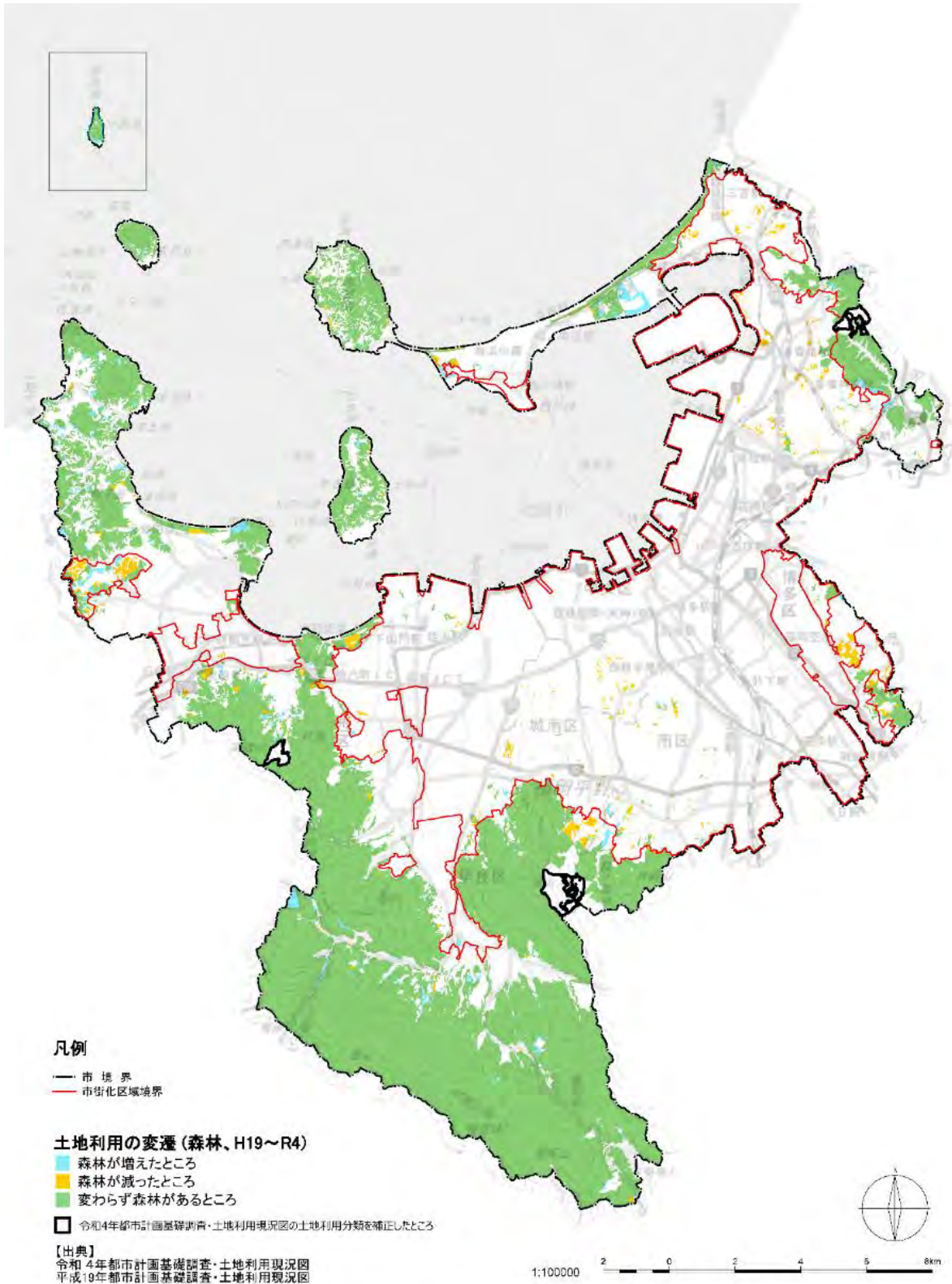
「山林の緑の豊かさ」に対する回答の年代別内訳 (R4)

R4の意識調査結果を年代別に見ると、18歳～20代では、「豊かになった」と答える割合が高く、高齢者になると「どちらかといえば豊かになった」と答える割合が高くなっている。



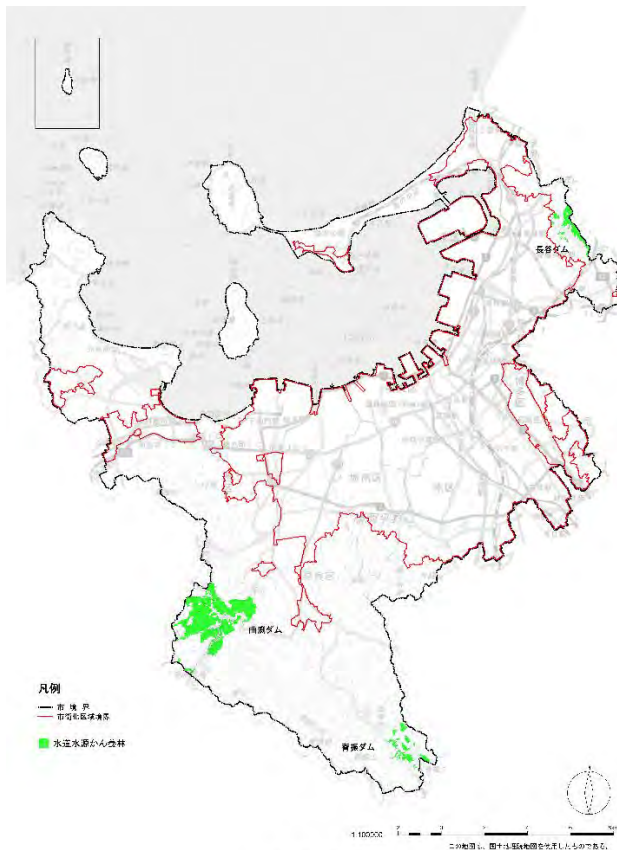
「山林の緑の豊かさ」に対する回答の住居区別内訳 (R4)

R4 の意識調査結果を居住区別に見ると、西区が「緑が豊か」と答えた割合が最も高く、次いで早良区、城南区の順に高かった。一方、博多区は「緑が豊か」と答えた割合が50%を下回り、他の居住区と比べて低くなっている。

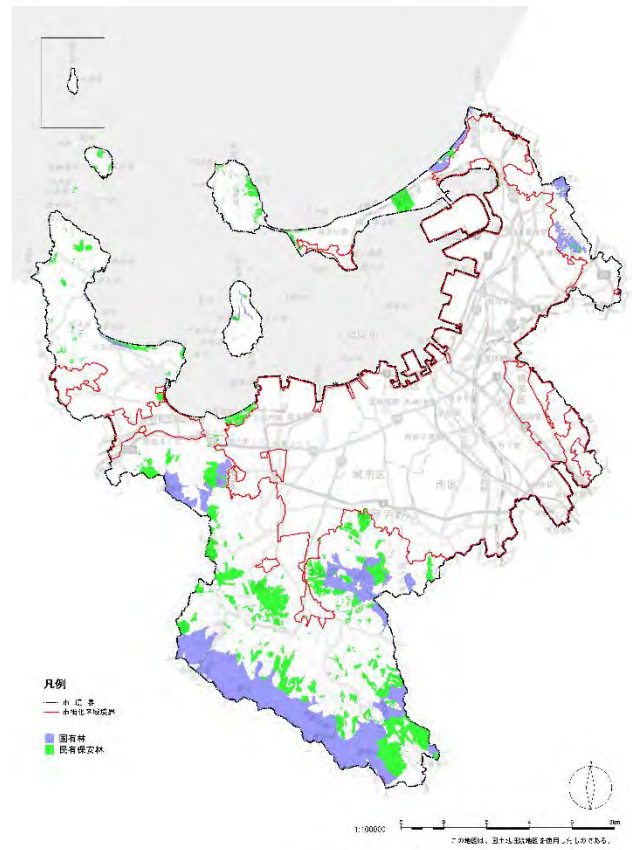


土地利用の変遷（森林）  
 （出典：福岡市緑の基礎調査）





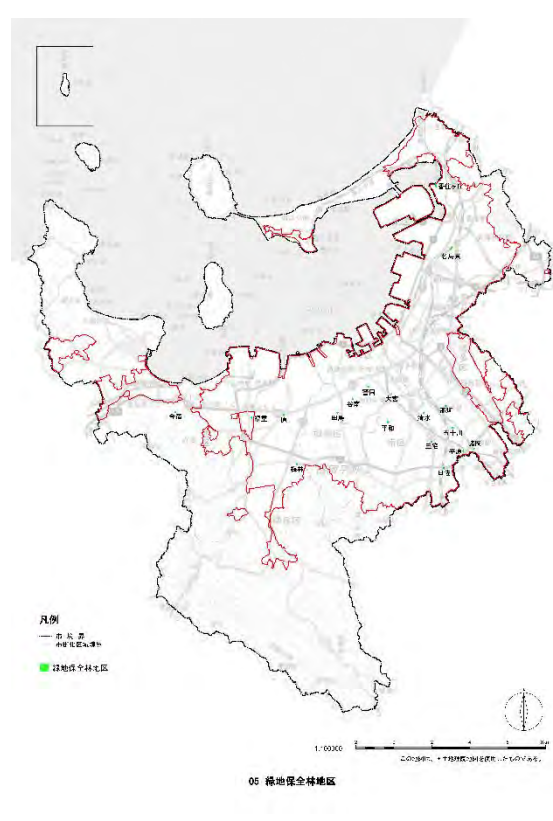
水道水源かん養林



保安林



特別緑地保全地区



緑地保全森林地区

(出典：福岡市緑の基礎調査)

## 【基本方向 2】山すそから海辺まで緑の水脈と緑のみちで結びます

・緑被面積は増加したが、豊かと感じている市民の割合は目標に到達していない。  
→市民が実感できる緑の連続性の確保が課題

### ①主な成果指標

河川の水辺の緑が豊かであると感じている市民の割合；目標値 70%

道路の緑が豊かであると感じている市民の割合；目標値 80%

河川水辺等、道路の緑、永続性のある農地の緑被面積の合計；目標値 2,849ha

### ②主な実績

○街路樹の本数 高木 49,709 本、中木 27,529 本、1,724,370 本 (H21)

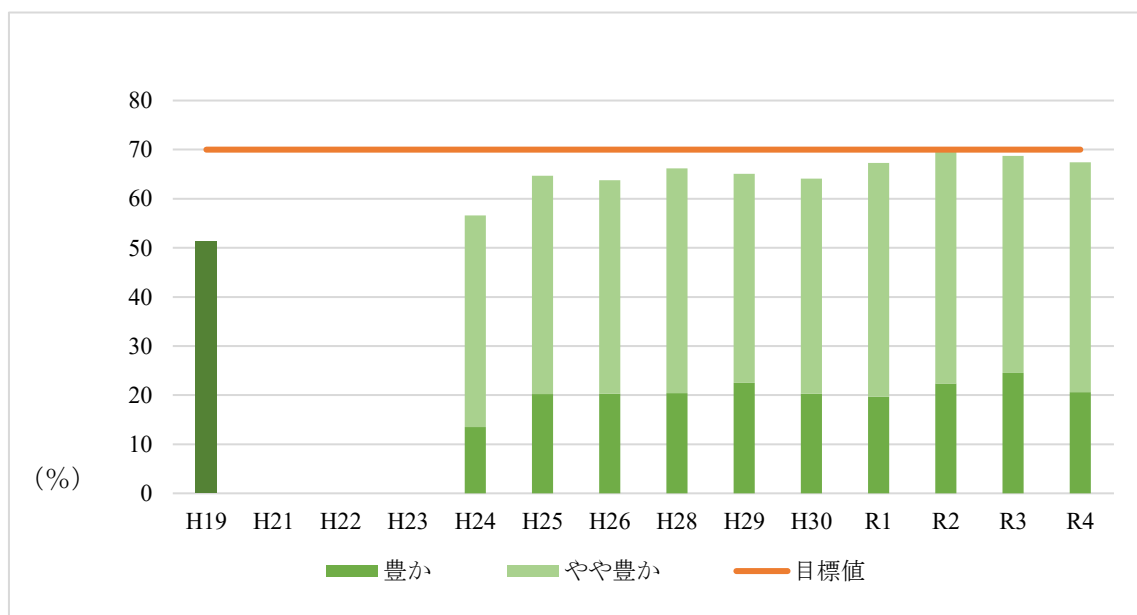
高木 56,146 本、中木 27,714 本、1,775,909 本 (R4)

○屋上・壁面緑化の助成実績

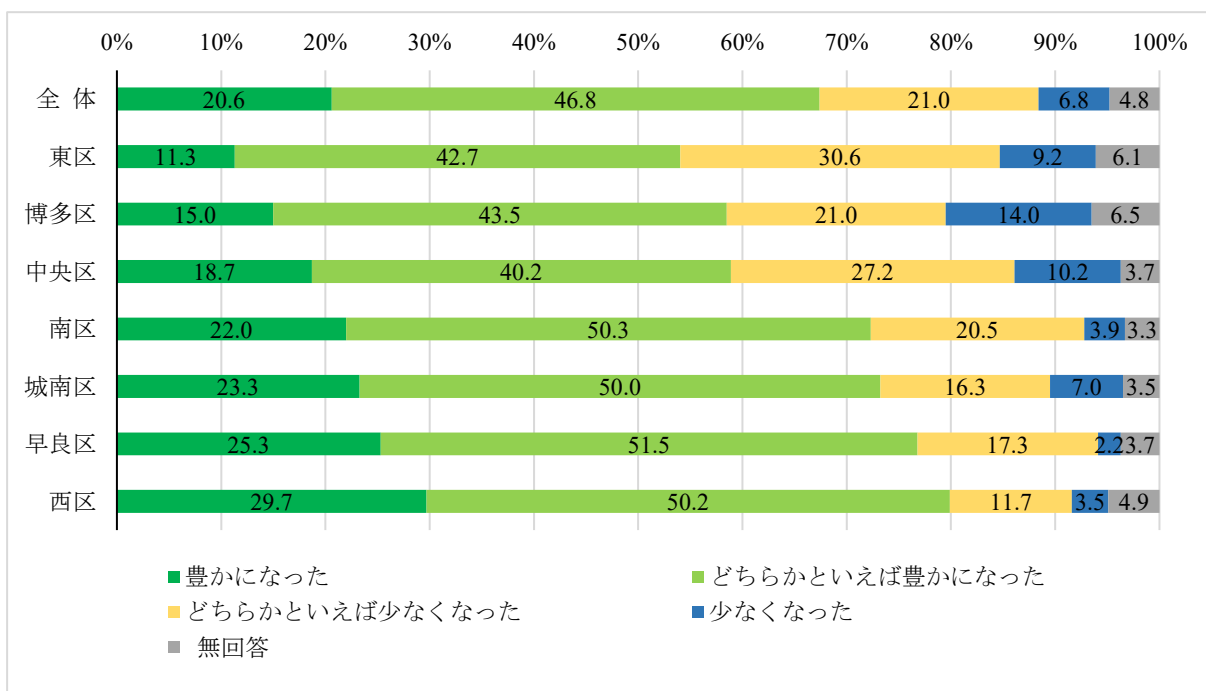
○生産緑地地区指定 11 箇所・累計 2.5ha (R4)

### ③達成状況

河川の水辺の緑が豊かであると感じている市民の割合は、H19 に比べ増加しており目標値に近づいている。



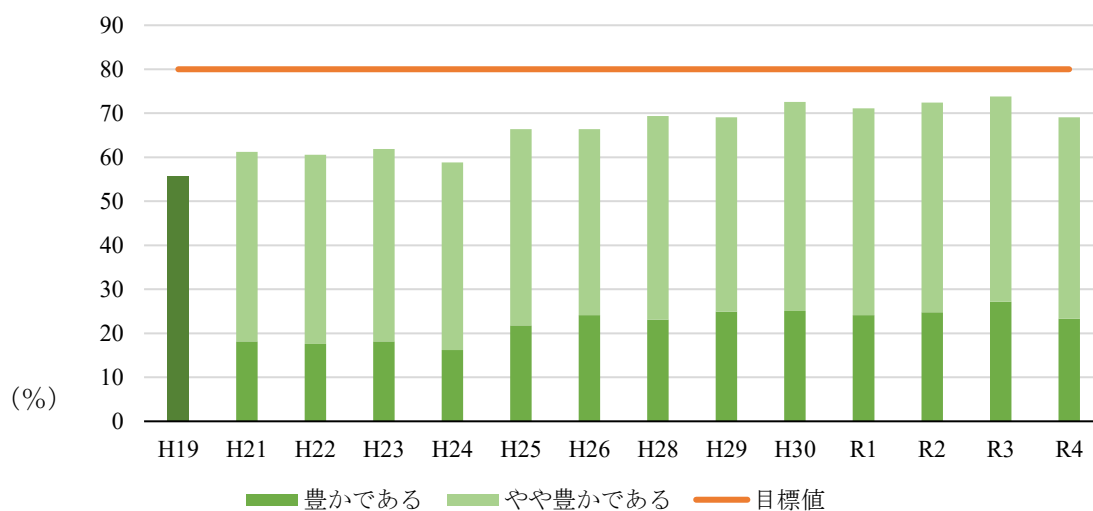
河川の水辺の緑が豊かであると感じている市民の割合



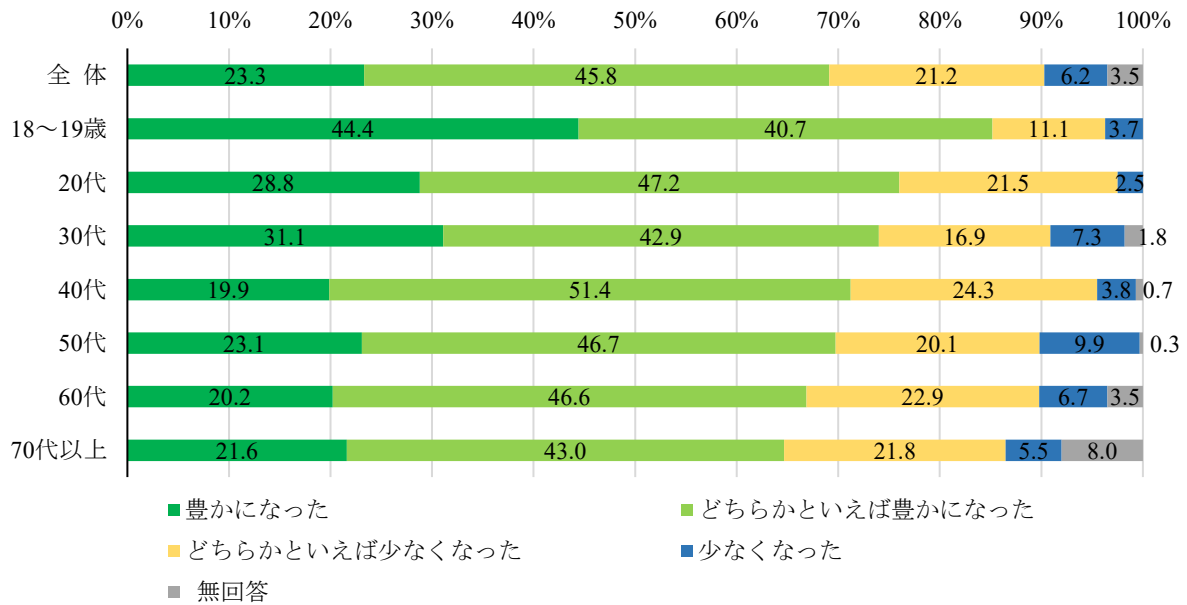
「河川の水辺の緑の豊かさ」に対する回答の住居区別内訳 (R4)

河川・水辺の緑が豊かであると感じている市民の割合は、西区、早良区が「緑が豊か」と評価している割合が高く、東区、博多区、中央区が低い。

道路の緑が豊かであると感じている市民の割合は、H19 に比べ増加しているものの目標値に**非達成**。

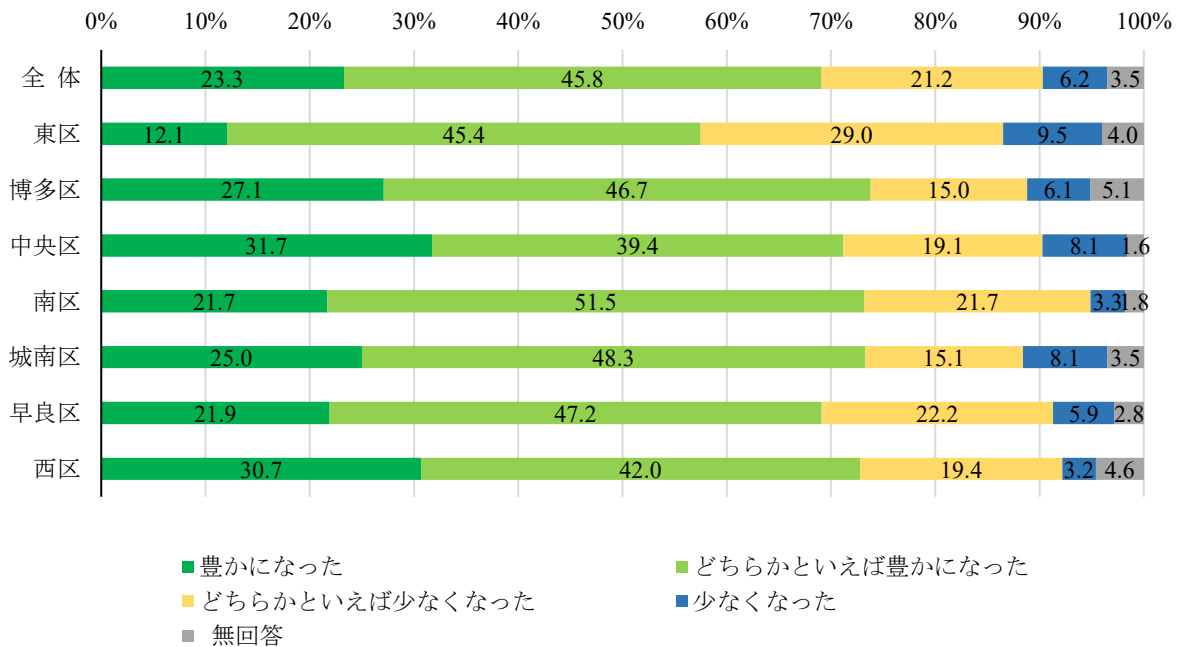


道路の緑が豊かであると感じている市民の割合



「道路の緑の豊かさ」に対する回答の住居区別内訳 (R4)

道路の緑が豊かであると感じている市民の割合は、18歳～20代、30代の若い世代の方が、緑が豊かと評価しており、年齢が上がるに伴い評価が下がってくる傾向が見られる。

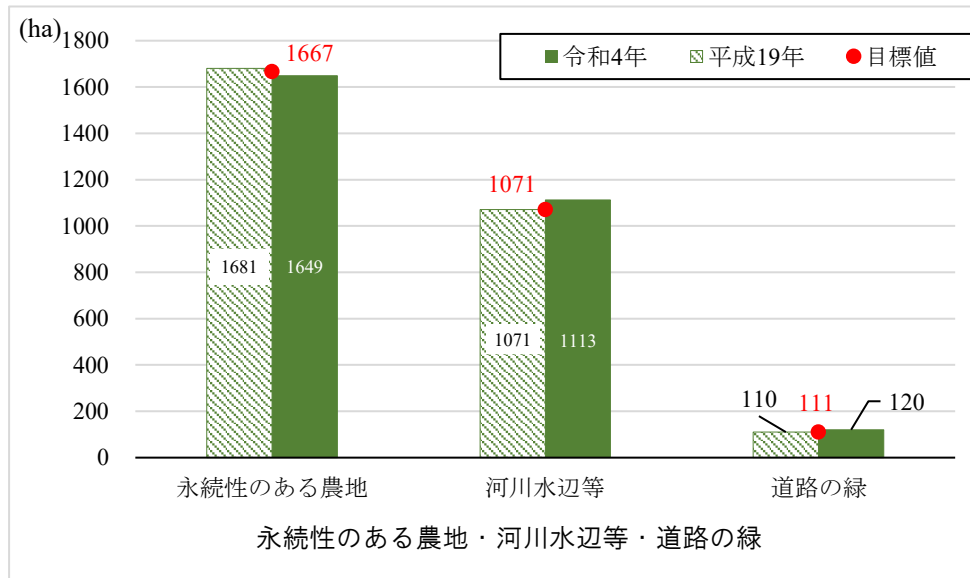


「道路の緑の豊かさ」に対する回答の住居区別内訳 (R4)

道路の緑が豊かであると感じている市民の割合は、居住区別にみると東区が、緑が豊かと評価した割合が低くなっている。

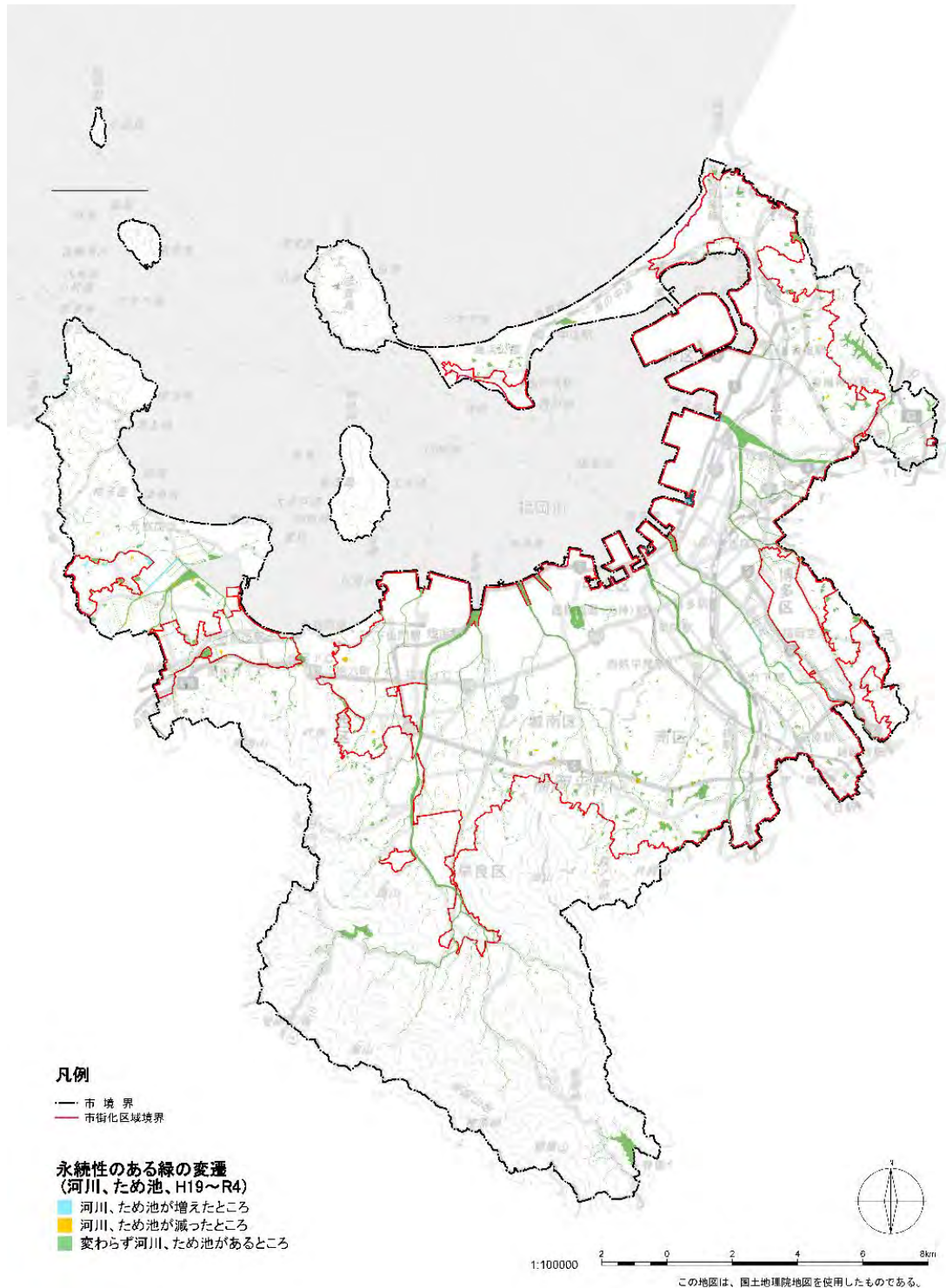
河川水辺等、道路の緑、永続性のある農地の緑被面積の合計は、H19 に比べ **20ha 増えて** おり、目標値を**達成**。

永続性のある**農地**は H19 年と比べ**緑被面積が 32ha 減少**しており、目標値に**非達成**。



河川水辺等の緑被面積は 1,113ha（目標達成率 108.1%、H19 年に比べ **42ha 増**）

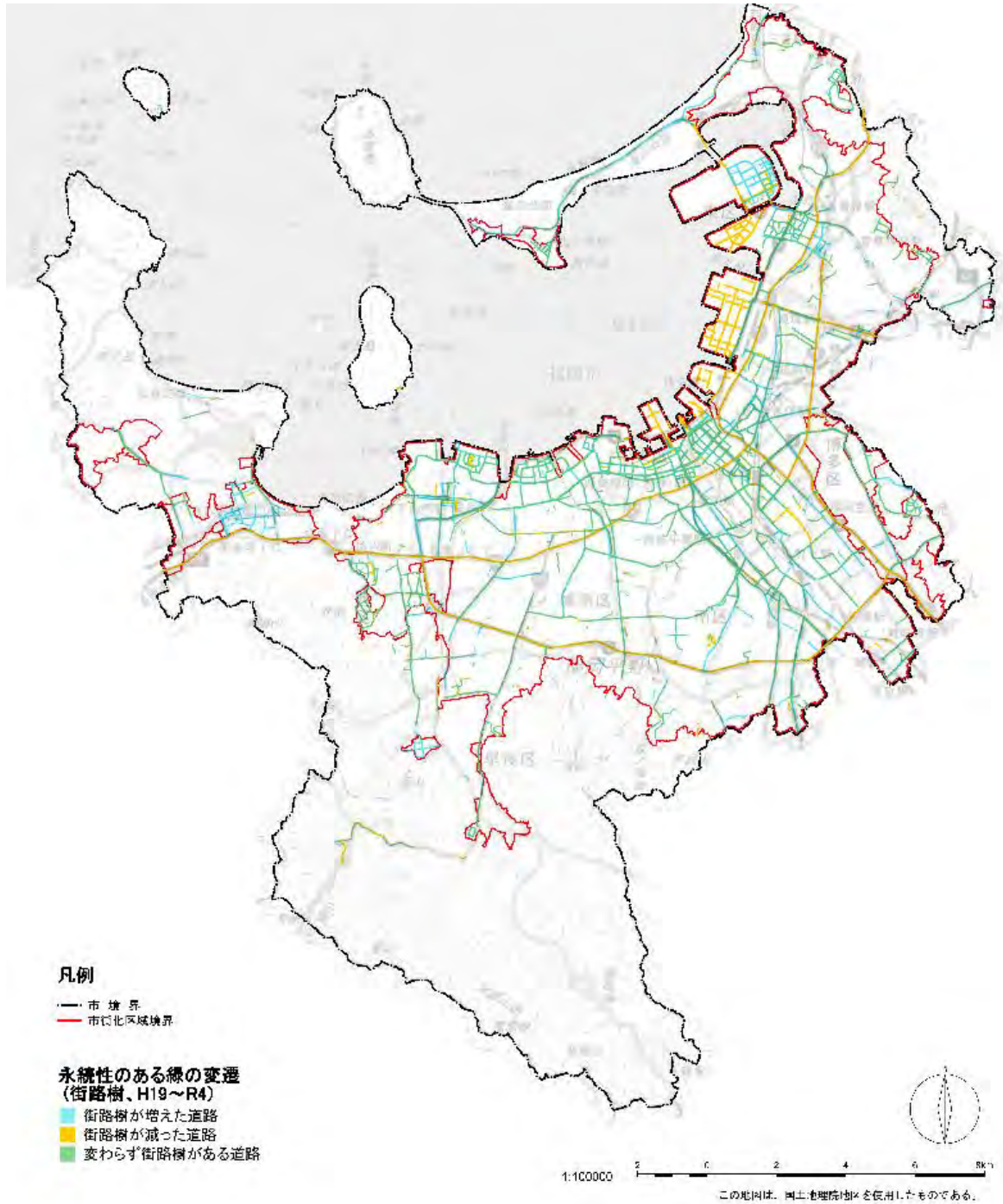
- ・主な増加箇所：今津で水路の幅が拡幅している。瑞梅寺川や周船寺川の川幅が広がっている。多々良川河口や箱崎 4 丁目と都市高速の間、博多ポートタワー周辺、西浦漁港の海面が市域とされ、水面が増えている。
- ・主な減少箇所：都市高速環状線（野多目～梅林）で 6 箇所のため池が埋め立てられた。市街化区域の各地で小規模なため池が消失している。



河川、ため池の変遷  
 (出典：福岡市緑の基礎調査)

道路の緑被面積は 120ha（目標達成率 108.1%、H19 年に比べ 9ha 増）

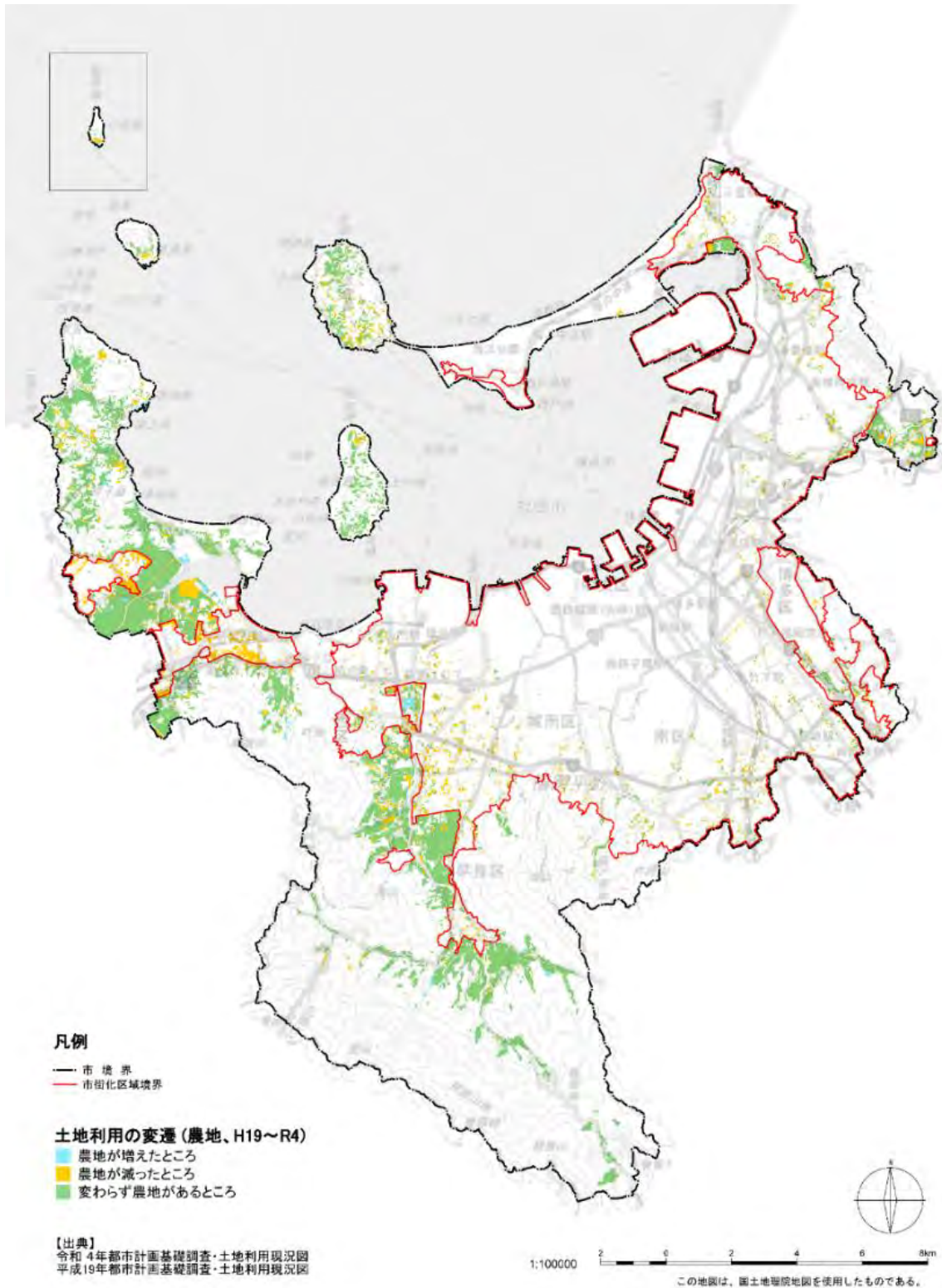
- ・主な増加箇所：海の中道パークウェイ、香椎アイランド線、学園通り線、日赤通り、今宿徳永線などで街路樹が整備された。



街路樹の推移  
(出典：福岡市緑の基礎調査)

持続性のある農地の緑被面積は 1,648ha（目標達成率 98.8%、H19 年に比べ 32ha 減）

- ・ 持続性のある農地：生産緑地地区 2.5ha、農用地区域 1634.4ha、公共団体設置市民農園 8.7ha、公共団体外設置市民農園 2.9ha
- ・ 農用地区域は市内各地で除外され、34.6ha 減少している。



農地の変遷  
(出典：福岡市緑の基礎調査)



(参考) 令和4年度農林水産統計書(令和5年3月発行)(抜粋)

## 1. 農 林 業

### (1) 土地利用

区 分	面 積	構成比	備 考
市総面積	34,346 ha	100.0 %	令和 3年 7月 1日現在
農地面積	2,398	7.0 %	令和 3年 1月 1日現在
森林面積	11,730	34.2 %	令和 2年 4月 1日現在
その他	20,218	58.9 %	

### (2) 農地・森林の内訳

区 分	面 積	構成比	備 考		
農地面積	総 数	2,398 ha	100.0 %	令和 3年 1月 1日現在	
	田	1,666	69.5 %		
	畑(果樹園を含む)	732	30.5 %		
森林面積	所 有 形 態 別	総 数	11,730 ha	100.0 %	令和 2年 4月 1日現在
	国 有 林	2,543	21.7 %		
	民 有 林	9,187	78.3 %		
	樹 種 別	民 有 林	9,187 ha	100.0 %	
		人 工 林	5,342	58.1 %	
		スギ	2,314	25.2 %	
		ヒノキ	2,629	28.6 %	
		マツ類	339	3.7 %	
		そ の 他	60	0.7 %	
		天 然 林	2,194	23.9 %	
	竹 林	259	2.8 %		
	無立木地その他	1,392	15.2 %		

## (3) 農家戸数等

区 分	戸数、従事者数	構成比	備 考
農家戸数	1,797 戸		令和 2年 2月 1日現在 ※2020年農林業センサスの数値に基づく
個人経営体	1,014 戸	100.0 %	
主 業	206	20.3 %	
準 主 業	233	23.0 %	
副 業 的	575	56.7 %	
農業従事者数	2,580 人		
農家人口	3,635 人		

※個人経営体：農業経営体のうち世帯で事業を行う経営体

※主業経営体：農業所得が主(世帯所得の50%以上が農業所得)で1年間に60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいる個人経営体

※準主業経営体：農外所得が主(世帯所得の50%未満が農業所得)で1年間に60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいる個人経営体

※副業的経営体：1年間に60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいない個人経営体

## (4) 農林業の生産状況 (令和3年)

区 分	生産規模		生産量	生産額	
		構成比			構成比
農 業				6,250 百万円	100.0 %
作付作物	1,674 ha	100.0 %		4,418	70.7 %
野 菜	277	16.5 %	13,360 t	2,483	39.7 %
花	42	2.5 %	10,302 千本	697	11.2 %
果 樹	30	1.8 %	341 t	112	1.8 %
米	1,084	64.7 %	4,664	1,021	16.3 %
麦	122	7.3 %	472	19	0.3 %
大 豆	1	0.0 %	0	0	0.0 %
飼料作物	114	6.8 %	5,876	59	0.9 %
工芸作物	4	0.3 %	13	27	0.4 %
景観作物	25	100.0 %			
畜 産				1,832	29.3 %
酪 農	460 頭		(生乳) 4,523 t	527	8.4 %
肥 育 牛	540 頭		326 頭	318	5.1 %
養 鶏	284,369 羽		(鶏卵) 4,834 t	987	15.8 %
			(鶏肉) 0 t	0	
林 業					
木 材			※(伐採) 9,798 m <sup>3</sup>	207	100.0 %

※伐採届出による主伐、利用間伐のみ

※野菜、花、果樹の作付面積については、2020年農林業センサス「販売目的の作物の作付・栽培面積(販売農家)」をもとに推計。

## (2) 耕地面積

地区番号	年・地区	田	畑 (果樹園を含む)	合計
		ha	ha	ha
	平成 29	1,764.20	838.69	2,602.89
	30	1,740.12	789.90	2,530.03
	令和 元	1,708.73	757.44	2,466.17
	2	1,687.16	741.33	2,428.49
	3	1,665.92	731.62	2,397.54
(1)	東区	126.65	116.85	243.49
(2)	博多区	27.96	20.92	48.88
(3)	中央区	0.00	0.26	0.26
(4)	南区	38.44	11.62	50.06
(5)	城南区	8.64	6.50	15.14
(6)	早良区	541.41	52.16	593.57
(7)	西区	922.82	523.32	1,446.15
1	志賀	33.96	57.83	91.79
2	和白	14.29	31.39	45.68
3	香椎	10.04	10.60	20.63
4	多々良	63.83	15.68	79.51
5	箱崎	4.40	1.34	5.74
6	席田	15.11	14.13	29.24
7	堅粕	1.74	0.96	2.70
8	板付	11.24	5.83	17.08
9	臼佐	9.31	2.21	11.52
10	三宅	9.89	2.33	12.22
11	那の川	1.19	0.41	1.60
12	花畑	17.27	6.52	23.80
13	樋井川	6.33	5.62	11.95
14	別府	0.00	0.00	0.00
15	原	8.20	3.74	11.94
16	田隈	35.98	5.82	41.80
17	入部	141.65	10.28	151.93
18	爐山	168.23	18.38	186.61
19	内野	156.06	14.08	170.15
20	金武	208.24	24.49	232.73
21	荻岐	58.74	8.13	66.87
22	姪浜	0.69	0.45	1.14
23	能古	11.25	50.00	61.25
24	今宿	48.64	24.62	73.26
25	今津	77.51	56.01	133.52
26	周船寺	83.75	20.00	103.75
27	元岡	346.92	38.07	384.99
28	北崎	121.46	302.68	424.14

# 1. 林業生産構造

## (1) 森林面積

(単位: ha)

区 分	17 年	22 年	27 年	R2 年	
森 林 面 積	11,085	11,054	10,959	11,730	
国 有 林	2,597	2,587	2,541	2,543	
民 有 林	8,488	8,467	8,418	9,187	
民 有 林 の 内 容	立木地総数	7,399	7,432	7,482	7,536
	針葉樹	5,534	5,510	5,510	5,471
	広葉樹	1,865	1,922	1,971	2,066
	人工林総数	5,368	5,365	5,371	5,342
	針葉樹	5,336	5,317	5,320	5,286
	広葉樹	32	48	51	56
	天然林総数	2,031	2,067	2,111	2,194
	針葉樹	198	193	191	185
	広葉樹	1,833	1,875	1,920	2,010
	竹 林	253	255	254	259
	無立木地等	836	790	682	1,392
	伐採跡地	6	5	3	8
	未立木地	409	324	263	171
	更新困難地等	222	245	210	176
森林計画対象外	200	206	206	1,038	

資料：福岡県「福岡地域森林計画書（森林資源表）」

## (2) 民有林樹種別面積 (R2年)

(単位: ha %)

区 分	民有林計	人 工 林					天然林	竹林	無立木地等 その他
		計	スギ	ヒノキ	マツ類	その他			
面 積	9,187	5,342	2,314	2,629	339	60	2,194	259	1,392
構成比	100	58.1	43.3	49.2	6.3	1.1	23.9	2.8	15.2

資料：福岡県「福岡地域森林計画書（森林資源表）」

## (3) 人工林の樹種別、樹齢別面積 (R2年)

(単位: ha)

樹 齢 樹 種	総 数	11年生 未 満	11~15	16~20	21~25	26~30	31~35	36~40	41~50	51~60	61以上
全 体	5,342	24	54	61	108	159	204	376	690	1,739	1,926
スギ	2,314	6	8	7	19	32	77	74	206	887	999
ヒノキ	2,629	2	30	48	81	121	125	288	454	769	710
マツ類	339	8	0	1	2	3	1	11	28	77	209
その他	60	8	16	5	7	3	2	2	1	6	8

資料：福岡県「福岡地域森林計画書（森林資源表）」

## (4) 規模別山林所有者数 個人分 (R2年)

(単位: 人, ha)

区 分	総 数	1ha未満	1以上-5未満	5以上-10未満	10以上-50未満	50ha以上
所有者数	5,469	4,453	910	85	21	—
面 積	3,876.80	1,134.43	1,847.83	564.15	330.39	—

資料: 福岡県「福岡地域森林計画書(森林資源表)」

## (5) 保安林の指定面積

(単位: ha)

区 分	指 定 の 状 況						
	28年度	29年度	30年度	R元年度	R2年度	R3年度	
総 数	4,024	4,024	4,026	4,023	3,994	3,993	
国 有 林	2,452	2,452	2,452	2,452	2,420	2,420	
民 有 林	( 274 ) 1,572	( 274 ) 1,572	( 274 ) 1,574	( 274 ) 1,571	( 276 ) 1,573	( 276 ) 1,573	
内 容	水源かん養	477	477	477	477	477	478
	土砂流出	( 0 ) 974	( 0 ) 974	( 0 ) 974	( 0 ) 972	( 0 ) 972	( 0 ) 972
	土砂崩壊	( 0 ) 2	( 0 ) 2	( 0 ) 2	( 0 ) 2	( 0 ) 2	( 0 ) 2
	飛 砂	( 13 ) 6	( 13 ) 6	( 13 ) 6	( 13 ) 6	( 13 ) 6	( 13 ) 6
	風潮害	( 1 ) 95	( 1 ) 95	( 1 ) 96	( 1 ) 95	( 1 ) 100	( 1 ) 99
	保 健	( 259 ) 13	( 259 ) 13	( 259 ) 13	( 259 ) 13	( 262 ) 11	( 262 ) 11
	その他	( 0 ) 4	( 0 ) 4	( 0 ) 4	( 0 ) 4	( 0 ) 4	( 0 ) 4

※ ( ) 書きは、兼種指定保安林であり、外数

※国有林には林野庁所管外の国有林も含んでいる。

資料: 福岡県農山漁村振興課森林保全係

## (6) 水源の森指定状況

(単位: ha)

区 分	28年度	29年度	30年度	R元年度	R2年度	R3年度
指 定 面 積	4,352	4,406	4,408	4,416	4,417	4,426

資料: (公財)福岡県水源の森基金

**【基本方向 3】九州・アジア新時代の交流拠点にふさわしい個性と風格を、緑と歴史で  
つくります**

- ・都心部の緑が豊かと感じる市民は増加しているものの、緑被面積は微増にとどまる。
  - ・アイランドシティまちづくりエリア北側で調査対象区域が増加したが土地利用は未済。
- 都心部やアイランドシティにおける緑化の推進が課題

①主な成果指標

- 都心部緑被面積、緑被率：目標値 103ha、11%
- 都心部の緑が豊かであると感じている市民の割合：目標値50%
- アイランドシティまちづくりエリアの緑被面積、緑被率：目標値 58ha、30%

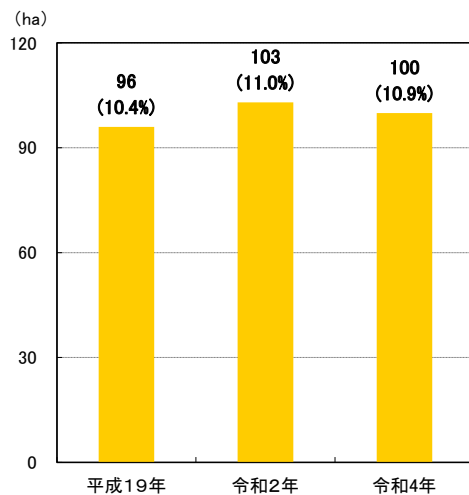
②主な実績

- 都心部機能更新誘導方策累計 14 棟 (H21～R4)
- 新たなまちづくりにおける公園整備 アイランドシティ、東部副都心
- セントラルパーク基本構想の策定

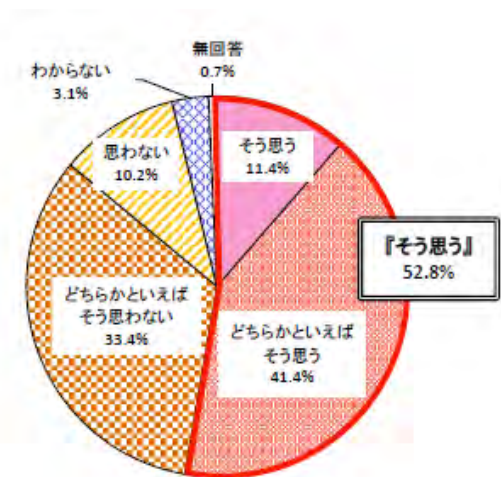
③達成状況

都心部の緑は緑被面積 100ha、緑被率 10.9%となっており、H19 から 4ha 増加しているものの、現計画の目標値には**非達成**

都心部の緑が豊かであると感じている市民の割合は 52.8%と H19 に比べ 26.8%増加しており**目標値を達成**



都心部の緑被面積、緑被率の推移と目標値  
(出典：福岡市緑の基礎調査)



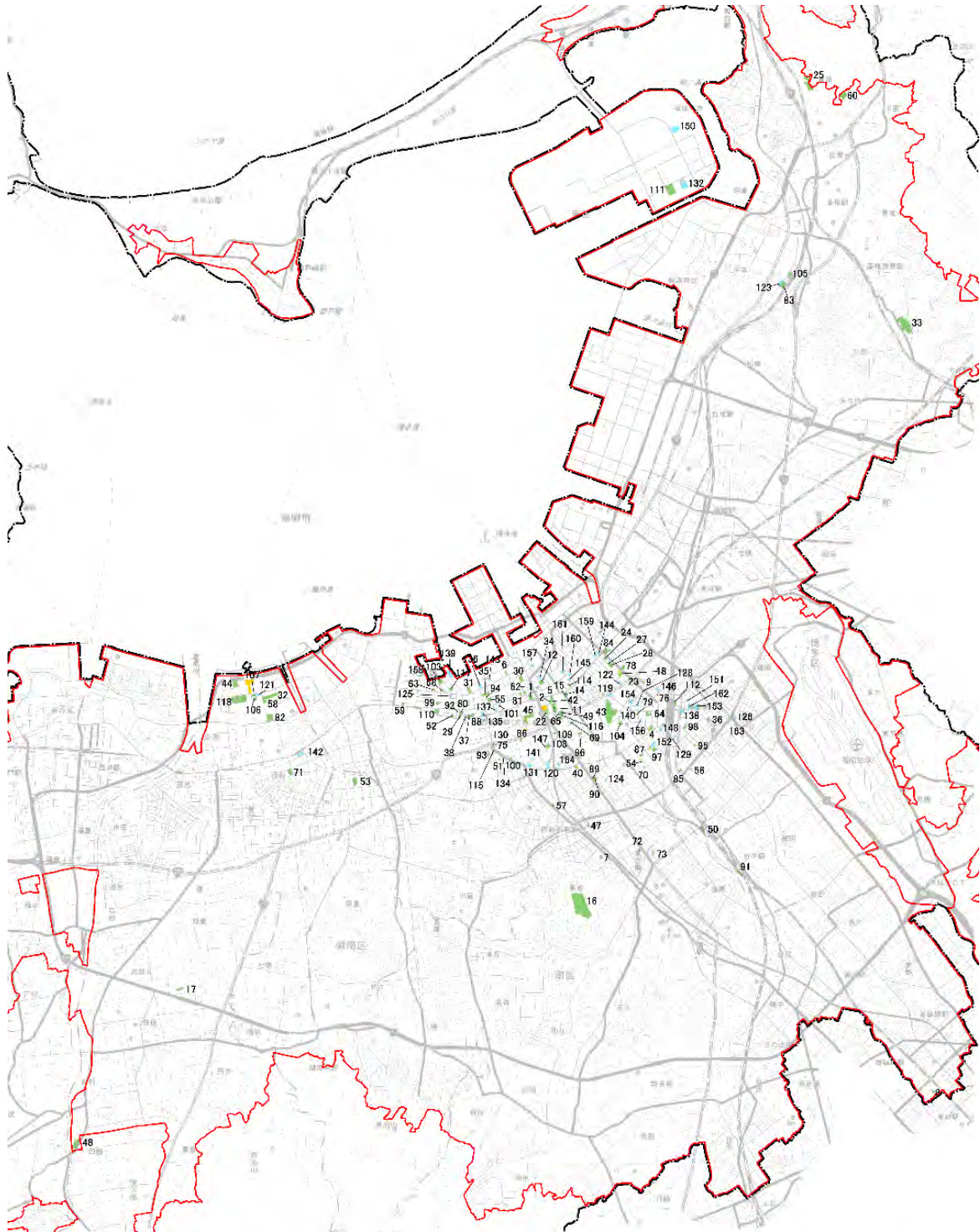
福岡市の都心部 (天神・博多など) の花や緑が豊かだと思うか  
(出典：R3 市政アンケート調査)

○ビルの建替え計画における緑化整備を誘導：14 件

(都ホテル博多、KITTE 博多、JRJP 博多ビル、ザ・ブラッサム博多プレミア、九勸承天寺通り、博多イーストテラス、博多深見パーク、紙与博多、天神 BC、福岡ガーデンシティなど)

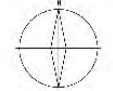
○都心部機能更新誘導方策の適用が可能な地区計画を策定：6 地区

(博多駅中央街、天神明治通り天1南・天2南・天1北、大名2丁目、天神1丁目)



凡例  
 — 市境界  
 — 市街化区域境界

永続性のある緑の変遷 (公開空地、H19～R4)  
 ■ 公開空地が増えたところ  
 ■ 公開空地が減ったところ  
 ■ 変わらず公開空地があるところ



1:50000  
 500m 1000m 500m  
 この地図は、国土地理院地図を使用したものである。

公開空地の変遷  
 (出典：福岡市緑の基礎調査)





## 【基本方向 4】心を癒し、身近な生活に潤いをもたらす緑をつくります

- ・公園の再整備は進んだが、公園に親しみを感ずる市民の割合は目標に到達していない。  
→公園に親しみを感ずる利活用の促進が課題
- ・公共公益施設の緑被面積は増加したが、民有地の緑被面積は減少。  
→民有地の緑化が課題

### ①主な成果指標

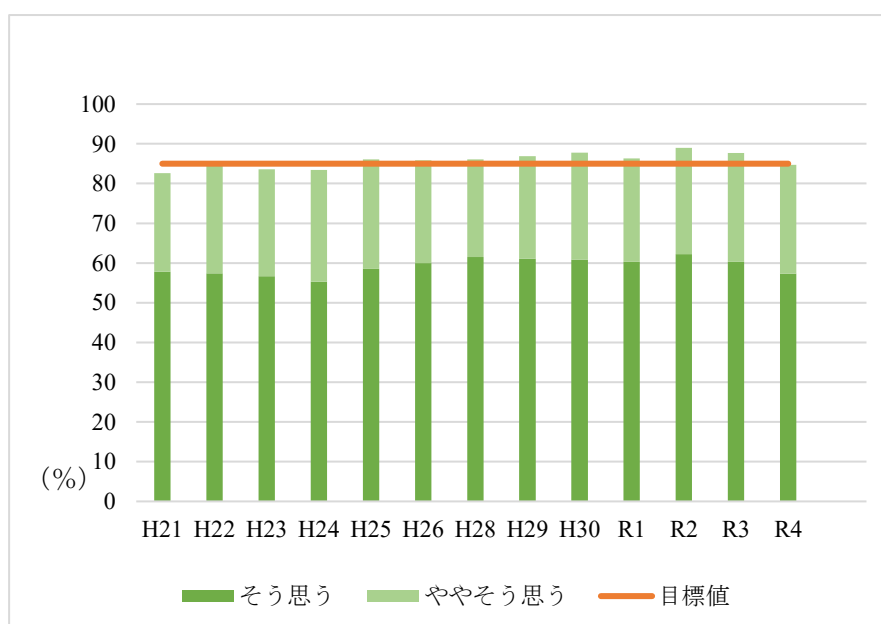
- ・身近なところに公園があると感ずている市民の割合：目標値 85%
- ・地域の公園に親しみを感ずている市民の割合：目標値 75%
- ・公園再整備箇所数：目標値・累計 150 箇所
- ・公共公益施設の緑被面積：目標値：557ha
- ・民有地の緑の面積：目標値：1,514ha
- ・地域の公園で子どもが安心して遊べると感ずている市民の割合：目標値：60%

### ②主な実績

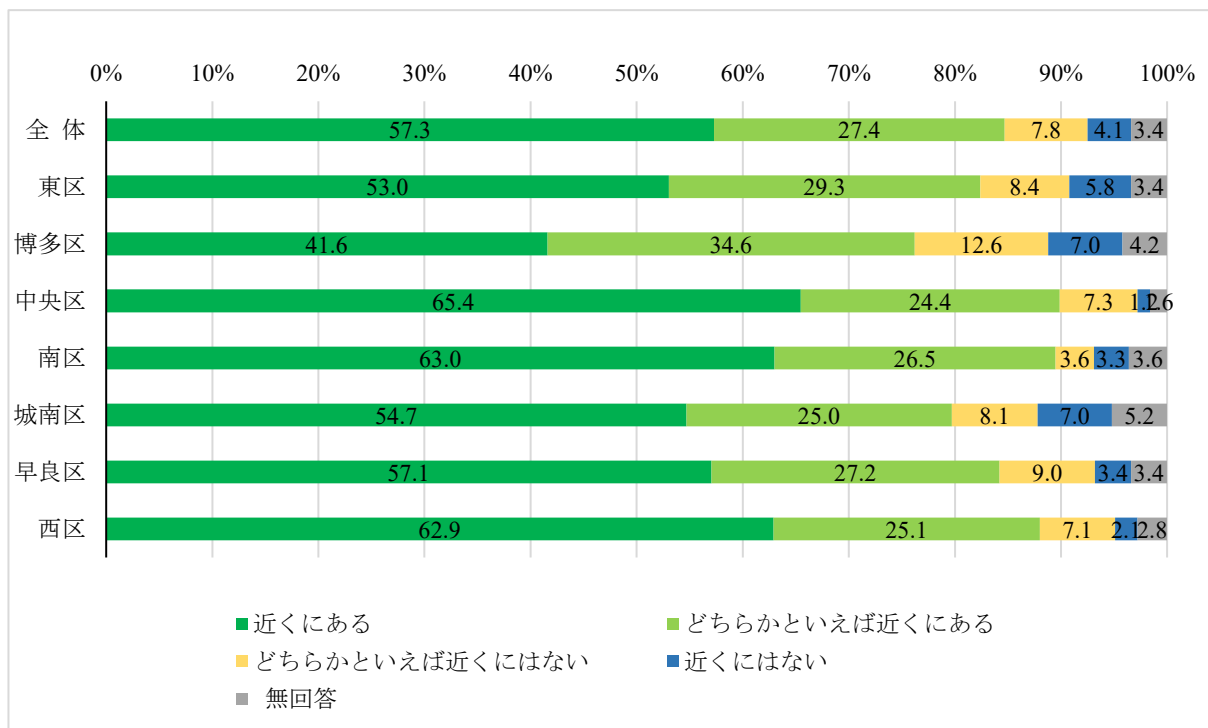
- 公園数：1,585 箇所（H21）→1,694 箇所（R4）109 箇所増
- 道路の緑の面積：110ha（H19）→120ha（R4）10ha 増
- 史跡・遺跡の公園的整備：30.2ha（H19）→31.5ha（R4）1.3ha 増
- 公営住宅の児童遊園整備：41.7ha（H19）→36.2ha（R4）5.5ha 減
- 空港周辺移転補償跡地の公園的整備：17.1ha（H19）→22.4ha（R4）5.3ha 増
- 緑地協定地区：40 地区 214.4ha（H19）→15 地区 47.3 ha（R4）25 地区 167.1 ha 減
- 保存樹の指定本数：1,9166 本（H19）→1,744 本（R4）172 本減
- 公園再整備箇所：167 箇所、内 58 箇所はワークショップや検討会を実施（H20～R4）

### ③達成状況

- ・身近なところに公園があると感ずている市民の割合は、R4 年は 84.7%と概ね 85%を維持しており、目標値をほぼ達成。



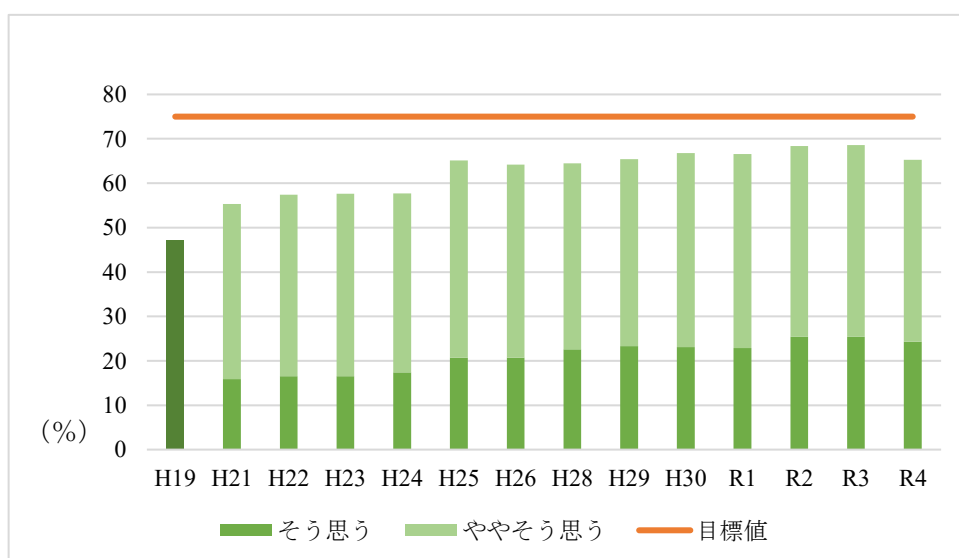
身近なところに公園があると感ずている市民の割合



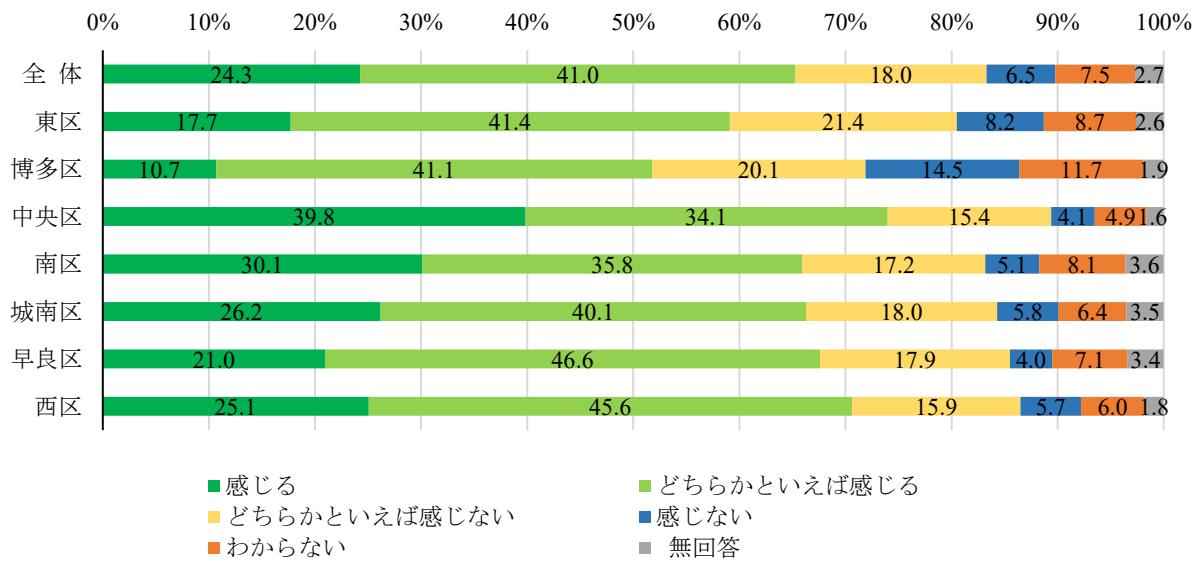
「河川の身近なところに公園があるか」に対する回答の住居区別内訳（R4）

身近なところに公園があると感じている市民の割合は、居住区別にみると博多区が最も低く、中央区が最も高い評価となっている。舞鶴公園・大濠公園周辺の公園緑地が影響していると考えられる。

- ・地域の公園に親しみを感じている市民の割合は H19 に比べ **65.3%** と増加はしているものの、目標値には**非達成**。



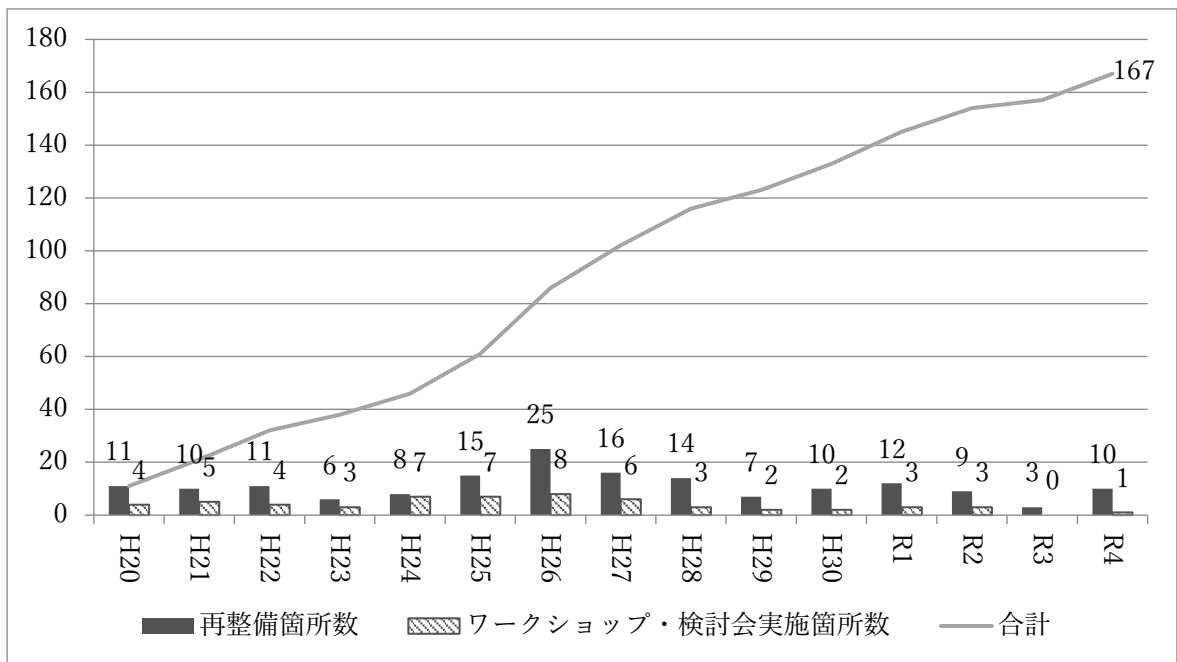
地域の公園に親しみがあると感じている市民の割合



「地域の公園に親しみがあるか」に対する回答の住居区別内訳 (R4)

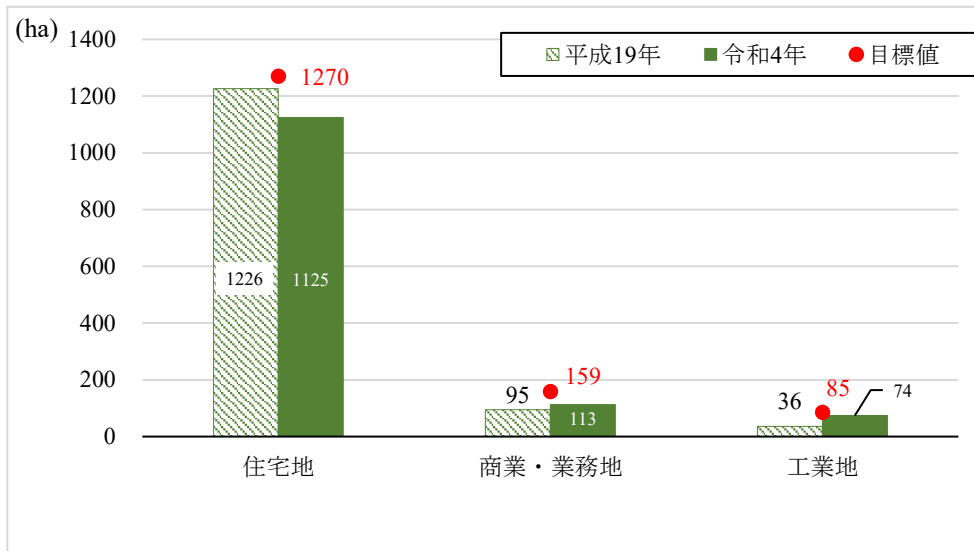
地域の公園に親しみを感じている市民の割合は、居住区別にみると博多区が最も低く、中央区が最も高い評価となっている。舞鶴公園・大濠公園周辺の公園緑地が影響していると考えられる。

- 公園再整備箇所数は、平成 20 年以降 167 箇所への目標値に達成。その内の約 3 割以上(61 箇所)の公園でワークショップや検討会を開催し、市民の声を取り入れた整備が進められた。

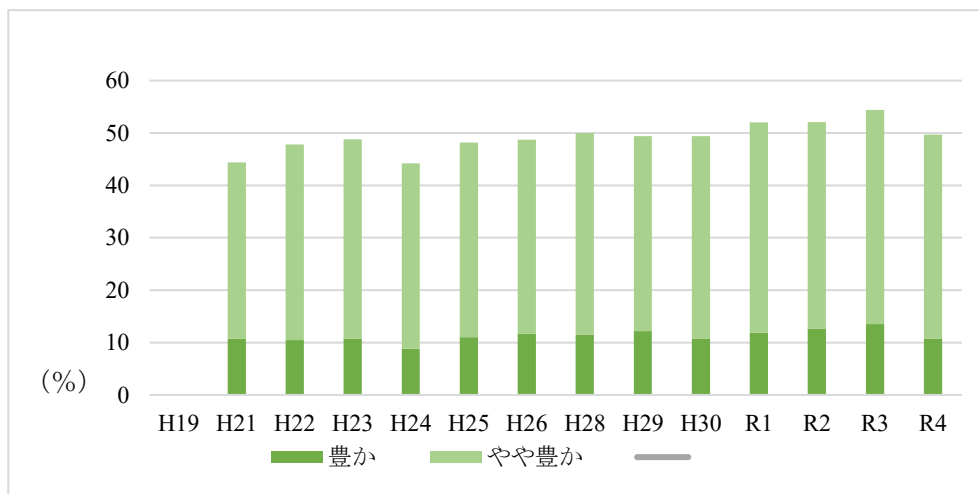


公園再整備箇所の推移 (H20～R4)

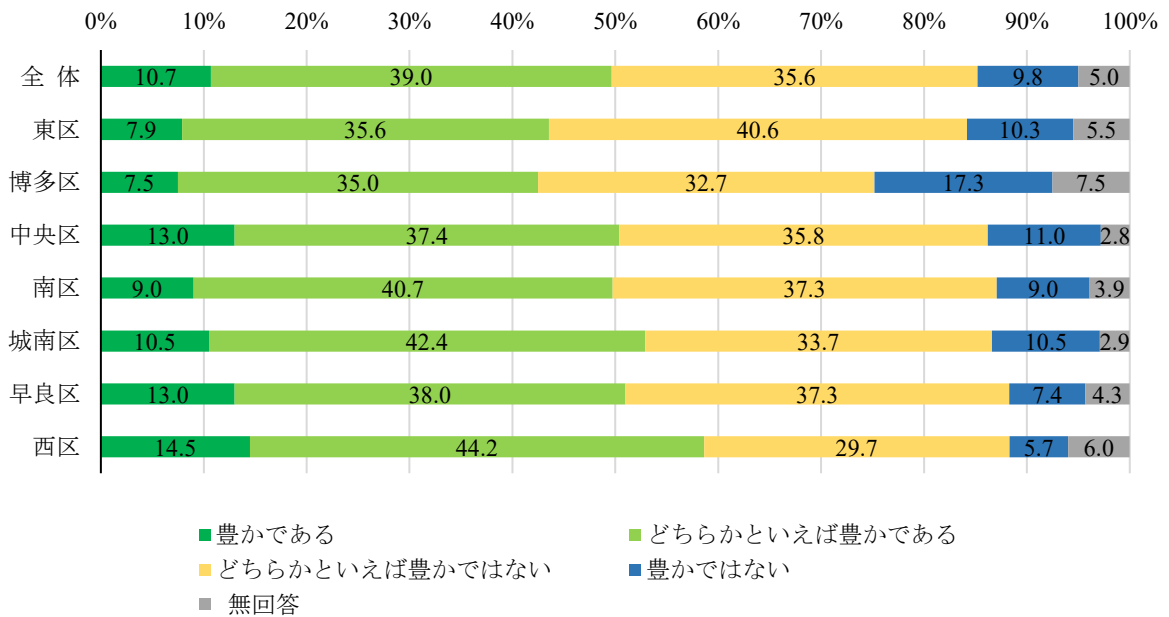
民有地の緑の面積は、H19 に比べ 1,312ha に減少し、目標値にも非達成。  
 民有地の緑を豊かだと思ふ市民の割合は H25 年以降 50%前後で推移し、H21 年と比べると約 5%増加している。



民有地の緑の推移



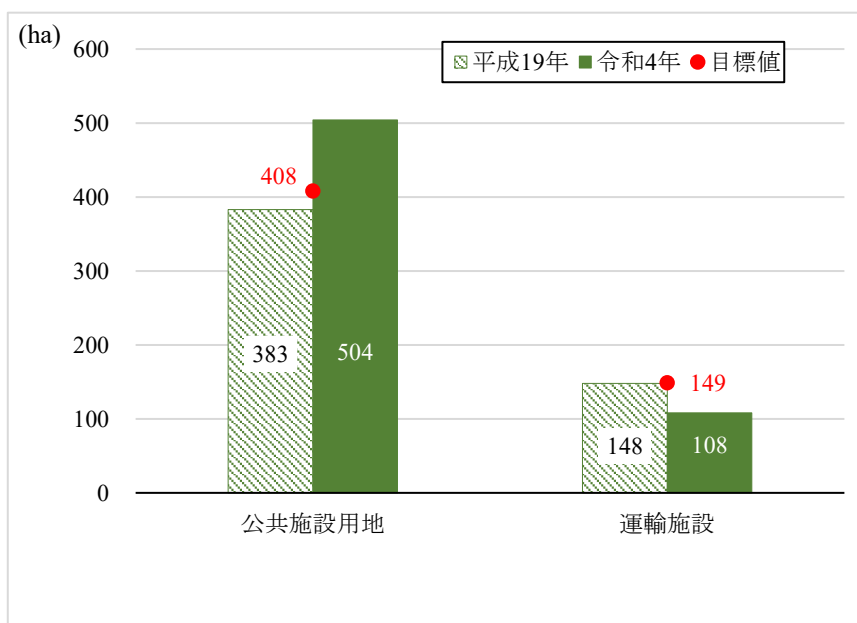
民有地の緑を豊かだと思ふ市民の割合



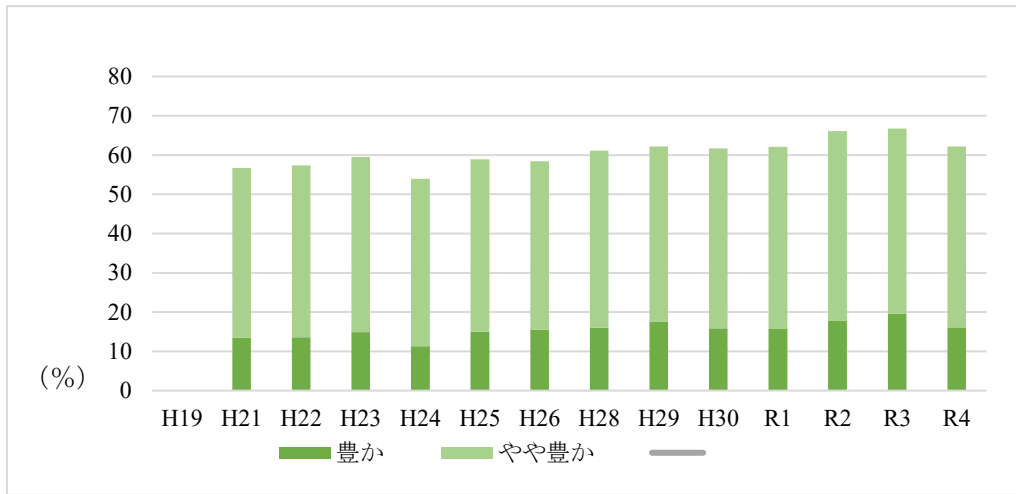
「民有地の緑豊かさ」に対する回答の住居区別内訳 (R4)

民有地の緑が豊かであると感じている市民の割合は、居住区別にみると西区が最も高く、次いで城南区が平均よりも高い評価となっている。

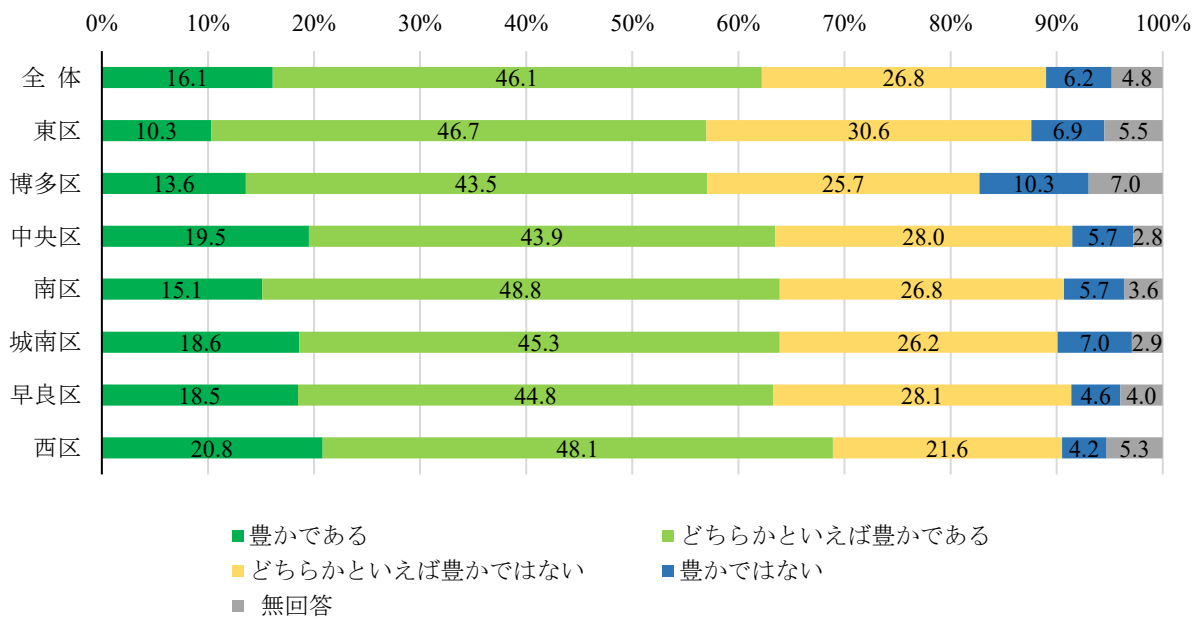
- ・公共公益施設の緑被面積は H19 に比べ **612ha に増加**し、目標値も **達成**。
- ・公共施設の緑を豊かだと思ふ市民の割合は 6 割前後で推移し、H21 と比べると **4.5%増加**している。



公共施設の緑の推移



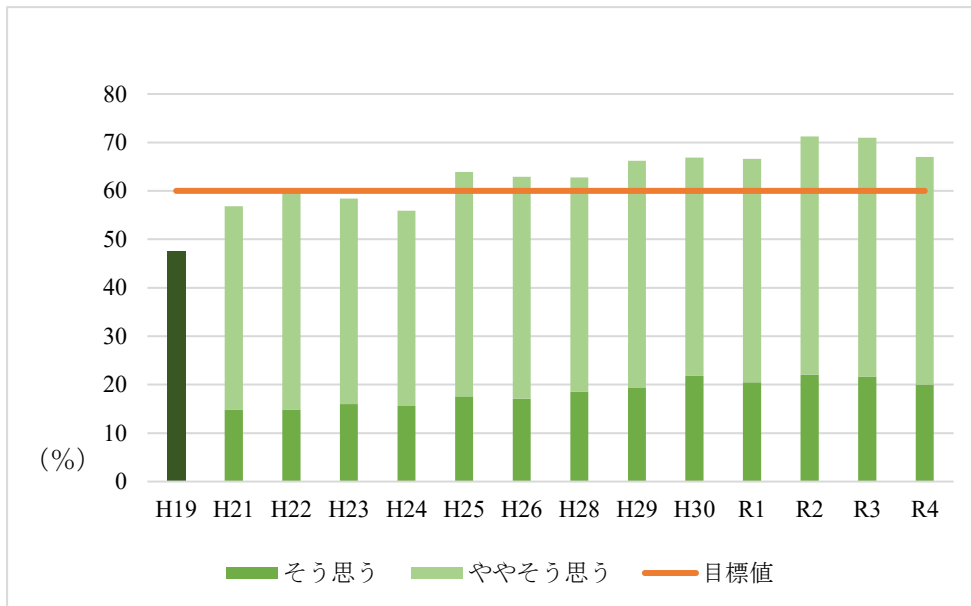
公共施設の緑を豊かだと思う市民の割合



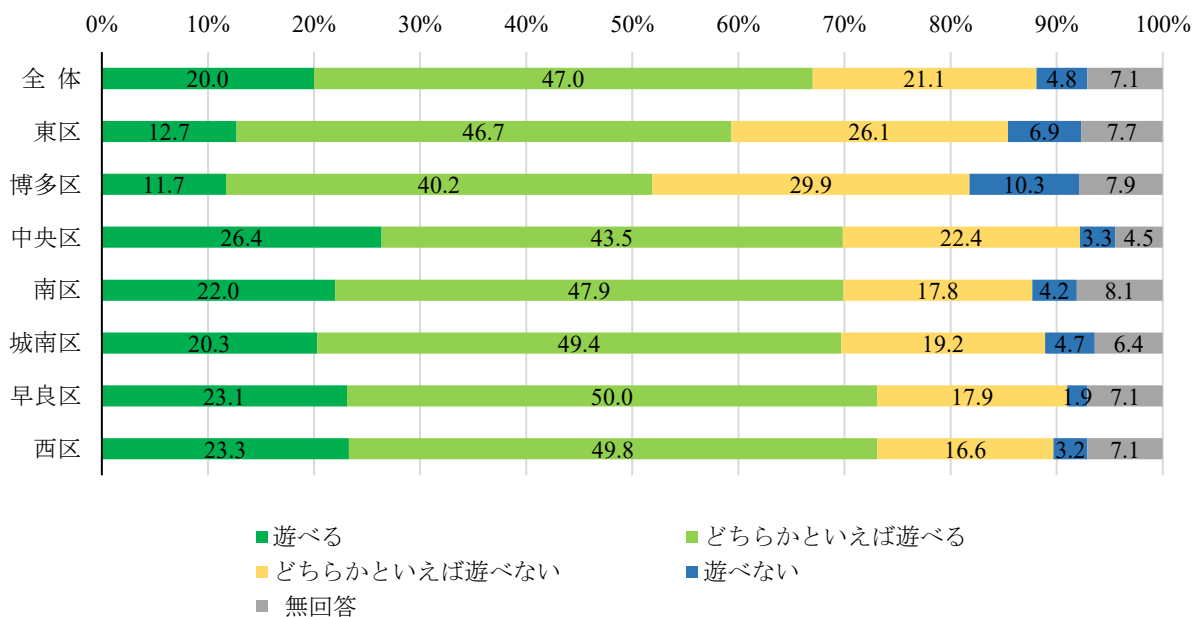
「公共施設の緑の豊かさ」に対する回答の住居区別内訳 (R4)

公共施設の緑が豊かであると感じている市民の割合は、居住区別にみると、東区と博多区が低く、西区が高い傾向にあるが、全市的にばらつきの少ない評価となっている。

- ・地域の公園で子どもが安心して遊べると感じている市民の割合は H19 から **67%に増加**し、目標値を**達成**。



地域の公園で子どもが安心して遊べると感じている市民の割合



「地域の公園で子どもが安心して遊べるかどうか」に対する回答の住居区別内訳 (R4)

地域の公園で子供が安心して遊べると感じている市民の割合は、居住区別にみると、博多区が最も低く、次いで東区が低い評価となっており、それ以外の区では概ね 70%前後が評価しており、目標値を達成している。

## 【基本方向 5】 福岡県西方沖地震等を教訓に、安全・安心を支える緑をつくります

・公園の再整備は進んだが、防災対策が充実していると感じる市民の割合は目標に到達していない。

→公園の防災機能についての広報啓発が課題

### ①主な成果指標

・地域に緊急時の避難場所が整備されていると感じている市民の割合：目標値 70%

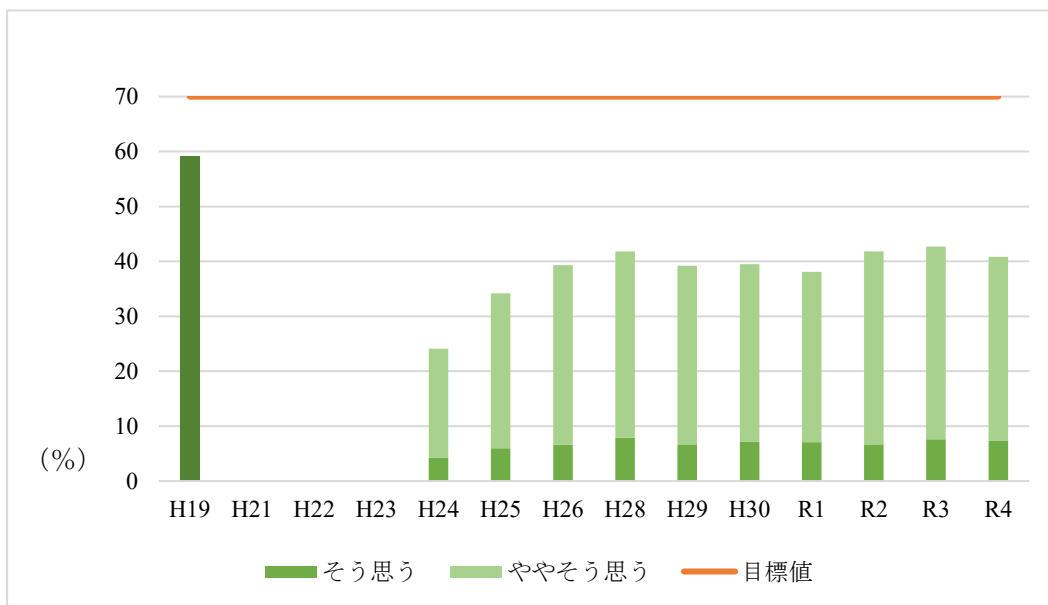
### ②主な実績

○地区避難場所 1 2 8 箇所・広域避難場所 2 2 箇所 (R2)

○防災公園として地域との協定数 2 件 (R2)

### ③達成状況

地域に緊急時の避難場所が整備されていると感じている市民の割合は、R4 年は 40.8%と H19 年から 13%程度減少、H26 年頃からは 40%前後で推移しており、目標値にも非達成。



地域に緊急時の避難場所が整備されていると感じている市民の割合

※「地域に緊急時の避難場所が整備されていると感じている市民の割合」の代替として、基本計画の成果指標における意識調査の「あなたの地域は防災対策が充実していると感じていますか」を指標とする。



(参考：近隣公園の配置状況)

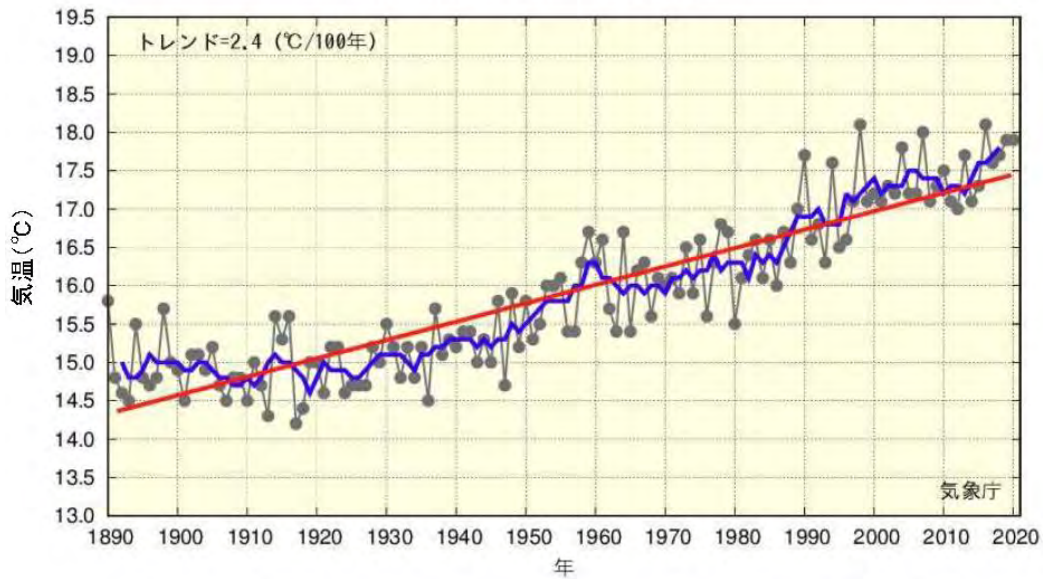
区	中学校区	小学校区	要配置状況	
			R5.4 時点	配置基準 公園名
東区 (小30・中15)	志賀	勝馬	×	
		志賀島		潮見
		西戸崎		(国営海の中道)
	和白	美和台		美和台中央
		和白東		上和白中央,高見台南
	香椎第3	香椎東		宮の台中央,香椎台おいの山
		香椎下原	×	
	香椎第2	香住丘		香住ヶ丘
		香椎	×	
	城香	城浜		城浜
		香椎浜		香椎浜・北・西・中央(香椎浜)
	照葉	照葉		(IC中央)
		照葉北		(IC中央)
	香椎第一	千早		千早中央(H20)
		千早西	×	
		香陵		香椎浜東・南
	多々良	舞松原		松崎中央
		若宮	×	
	松崎	名島		(名島運動)
		笠松		社領南
	箱崎清松	松島		(箱崎)
		(松島)		(箱崎)
	箱崎	箱崎		箱崎ふ頭記念,(汐井)
		東箱崎		貝塚
	福岡	馬出		(東)
	青葉	青葉		みどりが丘,(青葉)
	多々良中央	多々良	×	
		八田	×	
	和白	奈多		(国営海の中道,雁の巣RC)
		和白	×	
	三吉	三吉		三吉浜中央
		博多		冷泉
	博多区 (小18・中10)	住吉	住吉	×
千代				(東)
吉塚		東吉塚	×	
		吉塚		榎田中央
席田		席田		(大井中央),(東平尾)
		東月隈		(東平尾)
東住吉		月隈		月隈,下月隈,(上月隈中央),(東平尾)
		東住吉	×	
那珂		春住		(山王)
		那珂		那珂中央
板付		弥生	×	
		(宮竹)	(×)	
東光		板付北	×	
		板付	×	
三筑		東光	×	
	堅粕		中比恵	
三筑	三筑		諸岡中央	
	那珂南	×		
南区 (小25・中12)	春吉	(春吉)	(×)	
		玉川	×	
	宮竹	塩原		塩原中央
		宮竹	×	
	横手	(高木)	(×)	
		高木	×	
	白佐	白佐	×	
		白佐	×	
	野間	野間	×	
		野間大池		野間大池 上水
	筑紫丘	東若久	×	
		筑紫丘		筑紫丘中央
長丘	長丘		長丘中	
	西長住		樋井川中央,鹿助	
柏原	長住		長住中央	
	花畑	×		
花畑	柏原		柏原中央,(柏原運動)	
	東花畑	×		
三宅	西花畑		皿山中央,(柏原運動)	
	三宅		三宅中央,和田宝満	
老司	野多目		野多目中央,松ヶ枝	
	老司	×		
高宮	鶴田	×		
	(高宮)	(×)		
高宮	西高宮	×		
	大楠	×		

区	中学校区	小学校区	要配置状況	
			R5.4 時点	配置基準 公園名
中央区 (小12・中5)	警固	警固	×	
		赤坂		(舞鶴)
	平尾	平尾	×	
		小笹		小笹中央,小笹南,平和中央
	(城西)城南 区で計上	草ヶ江		(舞鶴),(大濠)
		(舞鶴)	(×)	
	舞鶴	舞鶴		須崎,警固,天神中央,(舞鶴),(大濠)
		高宮	×	
	(高宮) ※南区で 計上	(西高宮)	(×)	
		(大楠)	(×)	
	当仁	福浜	×	
		当仁		(大濠)
	(春吉) ※南区で 計上	南当仁		地行中央,(大濠)
		春吉	×	
	友泉	(三川)	(×)	
(塩原)			塩原中央	
城南区 (小11・中5)	(友泉)	笹丘	×	
		(金山)		友丘中央
	片江	長尾	×	
		田島		茶山中央
	梅林	片江		松山中央
		南片江		片江中央
	城西	金山		友丘中央
		七隈 (野芥)		(西南の杜の湖畔)
	城南	(田隈)	(×)	(西油山中央)
		城西	(草ヶ江)	(舞鶴),(大濠)
	長尾	高崎	×	
		(田島)		茶山中央
	西福岡	城南	×	
		別府	×	
	原	堤		東油山
堀丘			三尾池	
次郎丸	(西長住)		樋井川中央	
	原西	×		
原	有住	×		
	賀茂		賀茂中央	
田隈	有田	×		
	飯倉	×		
早良	飯倉		飯倉中央	
	飯倉中央	×		
原北	野芥		(西油山中央)	
	田村		田村中央	
原中央	田隈	×		
	早良	×		
百道	内野		内野中央	
	臨山		臨山中央	
高取	小田部		小田部中央	
	原北	×		
百道	大原	×		
	原	×		
高取	百道		(百道中央)	
	西新		(百道中央)	
金武	百道浜		(百道中央)	
	室見	×		
西武	高取		相原	
	四箇田		四箇田中央	
西武	入部		重留中央	
	(金武)	金武	室見が丘中央,(西部運動)	
西武	室見	×		
	愛宕		愛宕中央	
西武	愛宕浜		愛宕浜中央	
	姪浜	×		
西武	(姪浜)		姪浜中央	
	内浜		(小戸)	
西武	内浜		姪浜中央	
	(姪北)	(×)		
西武	福重		香岐	
	香岐		西の丘中央,(生松台中央)	
西武	香岐東	×		
	香岐南		野方中央	
西武	元岡		田原中央(H17)	
	岡崎寺	×		
西武	西都		山ノ宮古蹟(H27)	
	西都北	×		
西武	玄洋	×		
	今宿		長垂,長垂海浜,大塚古蹟(H29)	
西武	今津		(今津運動)	
	石丸		石丸中央公園(H31)	
西武	下山門	×		
	西陵	×		
西武	城原	×		
	北崎	×		
西武	能古	×		
	玄界	×		
西武	小呂	×		
	小呂	×		

(参考：『福岡県の気候変動』 福岡管区気象台)

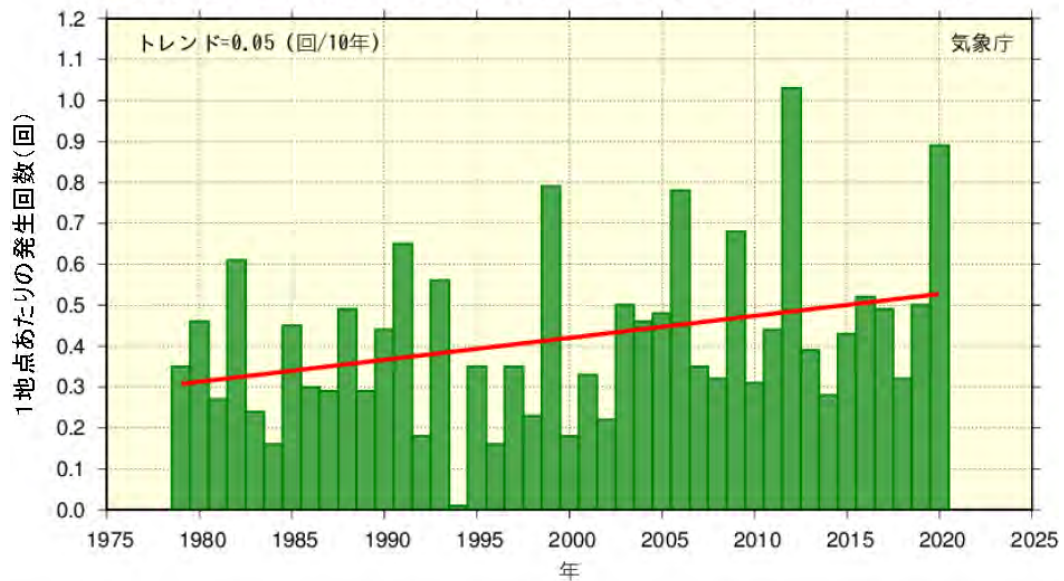
①福岡県の年平均気温は100年あたり2.4℃上昇。

### 福岡の年平均気温



②福岡県を含む九州北部地方の短時間強雨の回数は40年間で約1.5倍。

### 九州北部地方の1時間降水量50mm以上の回数



## 【基本方向 6】市民・企業による主体的な緑のまちづくりを支えます

・団体数は増加したが、参加している市民の割合は減少。  
→市民の参加率向上が課題

### ①主な成果指標

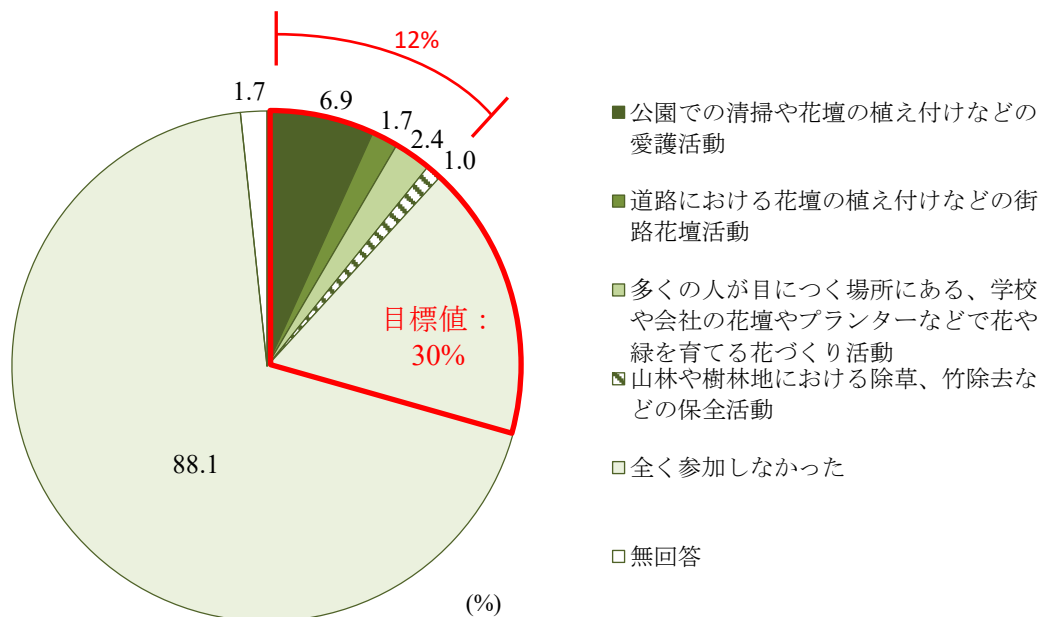
- ・緑のまちづくり活動に参加している市民の割合：目標値 30%
- ・街路樹花壇締結団体数：目標値 80 団体
- ・地域の森づくり・花づくり活動認定団体数：目標値 80 団体
- ・地域内連携公園管理の実施公園数：目標値 200 箇所

### ②主な実績

- 愛護会数 1,216 団体 (H20) →1,392 団体 (R4)
- 地域内連携公園管理事業 20 公園 (H19) →394 公園 (R4)
- コミュニティパーク事業 6 箇所 (R4)

### ③達成状況

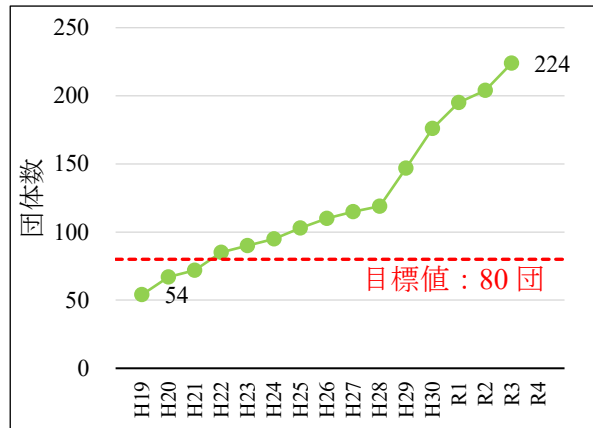
- ・緑のまちづくり活動に参加している市民の割合は 12% (R2) と H19 よりも減少し、目標値にも非達成。(令和3年第1回市政アンケートの間10の回答結果より)



過去3年間に「緑のまちづくり活動」に参加した市民の割合

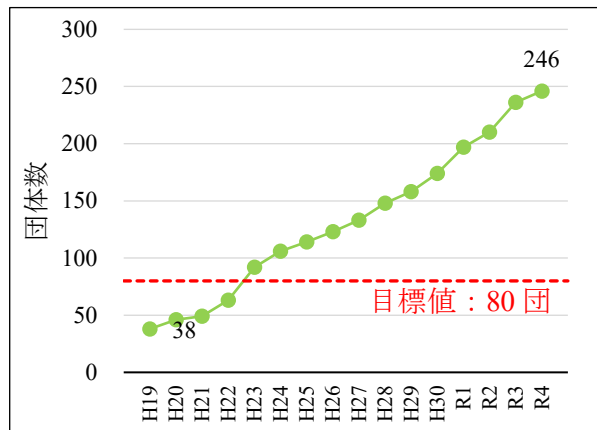
(出典：R3 市政アンケート調査)

- ・街路樹花壇締結団体数は 224 団体と H19 年から 5 倍以上増加し、目標値も大きく達成。



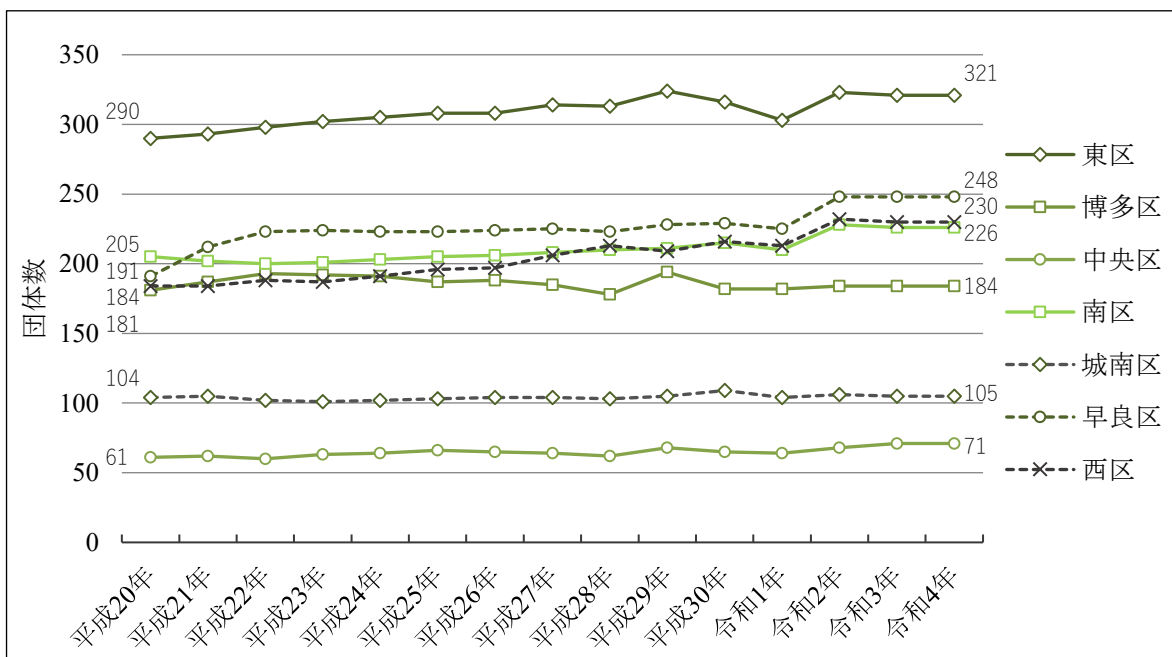
街路花壇協定締結団体数

- ・地域の森づくり・花づくり活動認定団体数は 246 団体と H19 年から 6 倍以上増加し、目標値も大きく達成。



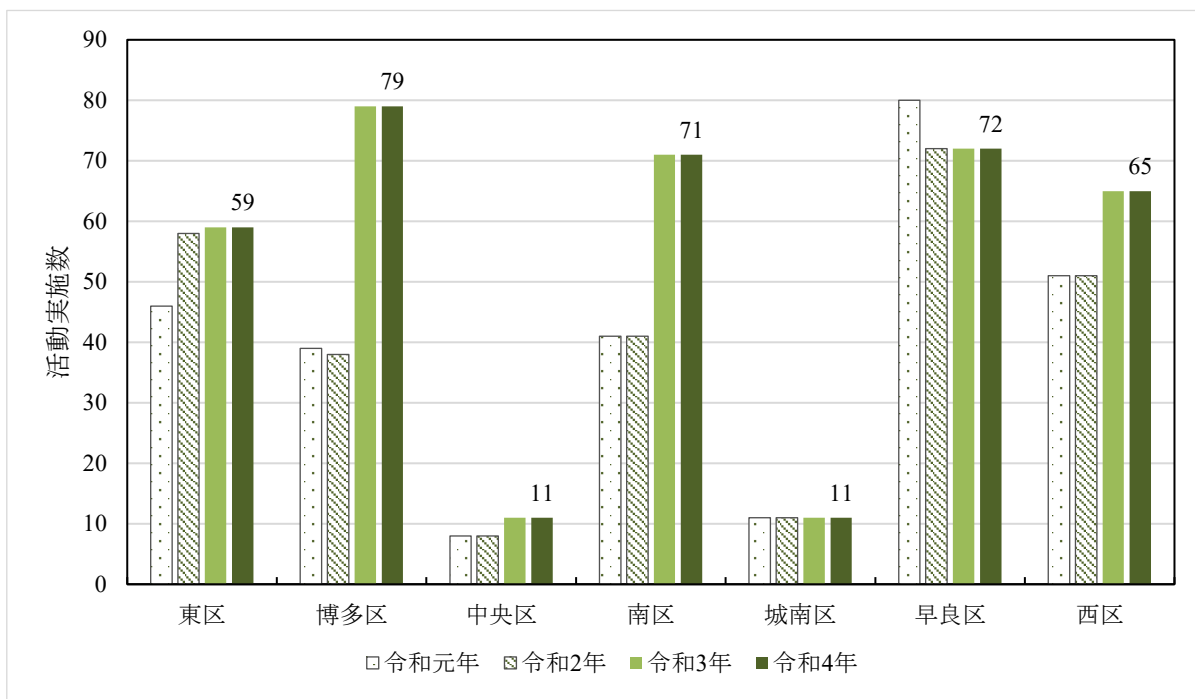
地域の森づくり・花づくり活動認定団体数

- ・愛護団体数は、各区ともに徐々に増加しており、合計数は H20 年当時 1,216 が R4 年に 1,385 団体となっている。



各区の愛護団体数（平成 28 年のみ愛護会結成公園数）

- ・地域内連携公園管理の実施公園数は、394 と H19 年の 20 から 15 倍以上の増加となっており、目標値も大きく達成。



選択活動実施数（居住区別）

【 まとめ 】

基本方向		成果指標	単位	計画時(a) (H19)	目標(b) (R2)	最新値(c) (R4)	差分 (c-b)	増減比 (対目標) (c/b)
1	森の緑地環、緑の腕、博多湾水際帯を守り、つなぎます	永続性のある樹林地の面積	ha	6,642	7,205	6,678	△ 527	93%
		森林による二酸化炭素吸収量	ton-CO2/年	53,510	57,240	55,720	△ 1,520	97%
		山林の緑が豊かであると感じている市民の割合	%	59.1	70.0	69.8	△ 0.2	100%
		市街化区域における永続性のある樹林地の面積	ha	138	213	126	△ 87	59%
		アイランドシティまちづくりエリアの緑被面積、緑被率	ha	28	58	38	△ 20	66%
%	14		30	19	△ 11	63%		
2	山すそから海辺まで緑の水脈と緑のみちで結びます	河川の水辺の緑が豊かであると感じている市民の割合	%	51.3	70.0	67.4	△ 2.6	96%
		道路の緑が豊かであると感じている市民の割合	%	55.6	80.0	69.1	△ 10.9	86%
		河川水辺等、道路の緑、永続性のある農地の面積	ha	2,862	2,849	2,882	33	101%
3	九州・アジア新時代の交流拠点にふさわしい個性と風格を、緑と歴史でつくります	都心部の緑被面積、緑被率	ha	96	103	100	△ 3	97%
			%	約10	約11	約11	0	100%
		都心部の緑が豊かであると感じている市民の割合	%	26.0	50.0	52.8	2.8	106%
		アイランドシティまちづくりエリアの緑被面積、緑被率	ha	28	58	38	△ 20	66%
			%	14	30	19	△ 11.0	63%
4	心を癒し身近な生活に潤いをもたらす緑をつくります	身近なところに公園があると感じている市民の割合	%	79.2	85.0	84.7	△ 0.3	100%
		地域の公園に親しみを感じている市民の割合	%	47.1	75.0	65.3	△ 9.7	87%
		公園再整備箇所数	箇所	-	150	167	17	111%
		公共公益施設の緑の面積	ha	531	557	612	55	110%
		民有地の緑の面積	ha	1,357	1,514	1,312	△ 202	87%
		地域の公園で子供が安心して遊べると感じている市民の割合	%	47.5	60.0	67.0	7.0	112%
5	福岡県西方沖地震等を教訓に、安全・安心を支える緑をつくります	地域の防災対策が充実していると感じる市民の割合	%	24.1	45.0	40.8	△ 4.2	91%
6	市民企業による主体的な緑のまちづくりを支えます	緑のまちづくり活動に参加している市民の割合	%	17.0	30.0	12.0	△ 18.0	40%
		街路花壇協定締結団体数	団体	41	80	224	144	280%
		地域の森づくり・花づくり活動認定団体数	団体	37	80	246	166	308%
		地域内連携公園管理の実施公園数	箇所	20	200	394	194	197%